

一般社団法人北海道中小企業家同友会
札幌支部 第 41 回定時総会 報告書

- 2026 年 4 月 27 日（月）17 時より、札幌パークホテル 3 階 パークホールにおいて、小野 浩二支部長の開会挨拶により開催された。
- 議長には（株）ケルプ研究所 代表取締役 福士 宗光 氏が選出された。
- 4 月 27 日現在の会員数は、1,797 名。17 時 20 分現在の出席者数が 133 名。委任状による参加名。合計参加者が 801 名となり、有効出席者が会員総数の過半数 899 名を超えており、支部運営規程第 3 条により本総会の成立が議長より確認された。
- 冒頭、池川 和人代表理事から 2026 年度北海道同友会活動方針案が発表された。
- 第 1 号議案 2025 年度活動報告が石政 健太郎幹事長より報告された。
- 第 2 号議案 2025 年度決算報告が目黒 久美子財務・運営委員長から報告された。会計監査報告が吉田 肇会計監査から報告された。
- 議長が第 1 号議案、第 2 号議案について会場に諮り、挙手多数をもって原案通り可決された。
- 第 3 号議案 2026 年度札幌支部役員の選出について源 真紀役員選考委員長から提案された。
- 議長が第 3 号議案について会場に諮り、挙手多数で原案通り可決された。
- 議長より第 1 回札幌支部幹事会開催のため審議の中断が宣言された。
- 総会再開後、事務局より第 1 回札幌支部幹事会で互選された支部四役が報告された。

【2026 年度 札幌支部四役】

役職	氏名	読み仮名	備考
支部長	前川 裕一	(まえかわ・ゆういち)	※新任
副支部長	工藤 英人	(くどう・ひでと)	
副支部長	鈴木 暁彦	(すずき・あきひこ)	
副支部長	久門 和木	(くもん・かずき)	※新任
幹事長	石政 健太郎	(いしまさ・けんたろう)	
副幹事長	直井 泰憲	(なおい・やすのり)	
副幹事長	野尻 雅之	(のじり・まさゆき)	
副幹事長	山本 耕司	(やまもと・こうじ)	

- 第 4 号議案 2026 年度活動方針案が前川 裕一支部長より提案された。また、各地区会の会長などの代表者ならびに専門委員会・部会・研究会の代表者がそれぞれの組織／活動を紹介した。
- 第 5 号議案 2026 年度予算案が目黒 久美子財務・運営委員長より提案された。
- 第 6 号議案 第 58 回全道総会代議員候補が久門 和木副支部長より提案された。
- 議長が第 4 号議案、第 5 号議案、第 6 号議案について会場に諮り、挙手多数をもって原案通り可決された。
- 新年度の役員代表挨拶として鈴木 暁彦副支部長から挨拶があった。
- 全ての議題が可決され、第 41 回定時総会が閉会した。

一般社団法人北海道中小企業家同友会 札幌支部

第41回定時総会報告書



2026年 4月 27日（月） 17:00～21:00

於：札幌パークホテル

一般社団法人北海道中小企業家同友会 札幌支部
第41回定時総会報告書 目次

1. 2025年度活動のまとめ	P1
2. 2025年度決算	P2～3
3. 2026年度札幌支部役員名簿	P4
4. 2026年度活動方針	P5
5. 各地区会活動方針	P6～29
6. 各委員会活動方針	P30～45
7. 各部会・研究会活動方針	P46～53
8. 2026年度予算	P54
9. 北海道同友会第57回定時総会札幌支部選出代議員名簿	P55～56
10. 札幌支部組織	P57

2025 年度 札幌支部 活動報告

【2025 年度スローガン】

札幌地域未来型企業を目指し、環境変化に対応しよう

【2025 年度活動方針】

1、労使見解に基づいた経営指針で企業づくりを

労使見解から学ぶべき点は経営姿勢を確立し、社員と信頼関係を築き、共に経営指針の成文化と実践を行い、社員をもっとも信頼できるパートナーと考えることです。社員とともに高い次元で団結し難局を乗り越える企業づくりに取り組みましょう。

⇒労使見解に基づく経営姿勢の確立と、社員を最も信頼できるパートナーとして共に歩む企業づくりを目指し、経営指針の成文化と実践を軸とした活動を進めました。経営指針委員会では、第 22 期経営指針研究会を 21 社 22 名でスタートさせ、前年を大きく上回る参加となりました。5 月には中同協経営労働委員長である（株）山田製作所・山田茂会長を招いた学習会を開催しました。2023 年度より復活させた支部例会では、2 月に工藤英人副支部長（（株）工藤商事・社長）の報告とグループ討論を通じて経営指針の大切さを学び深めました。地区会や各組織でも経営指針や経営姿勢をテーマとした例会・学習会が行われ、「実践し続ける」ことの重要性が共有されました。

2、札幌地域未来型企業を目指した例会づくり

時代に即した問題をテーマに、課題解決に結びつく例会を通じて、経営者と社員が共に学び合い、地域に密着し、地域の未来に寄り添う『札幌地域未来型企業 ※』づくりに取り組みます。そのためにも、地区会の枠を超えた全員告知例会を積極的に行い、全国最大規模を誇る支部のスケールメリットを生かしましょう。【札幌地域未来型企業は造語で、地域は札幌支部がカバーする範囲を想定】

⇒今年度は「札幌地域未来型企業」を支部共通テーマに掲げ、地区会の枠を超えた全国・全会員告知例会や大規模合同例会を積極的に開催し、支部全体で学びの機会創出に力を注ぎました。一方、各地区会や委員会における多様な取り組みを、このテーマと明確に結び付けて共有・発信する点には十分ではありませんでした。しかし、採用・人材育成・事業承継・DX・地域連携など時代に即したテーマで行われた数多くの学び合いは、「札幌地域未来型企業」を目指す活動そのものです。今後は「2030 ビジョン」と連動させながら、これらを支部全体の取り組みとして明確に位置付け、推進していきます。

3、40 周年を契機に新たな支部戦略づくりに取り組む

1986 年 6 月 19 日に設立した札幌支部は、2026 年 40 周年を迎えます。現在、12 地区、8 つの委員会、7 つの部会・研究会で積極的な学び合い活動が行われています。これらの活動が、40 周年記念行事を通じて新たな化学反応を起こし、未来に向けた支部戦略を構築することで、札幌支部を新たなステージへ引き上げることにつながります。そのためにも 1900 人の会員を達成し、記念行事に向けた準備を進めていきましょう。

⇒12 地区会、8 つの委員会、7 つの部会・研究会において、多様な学び合いの活動が展開されました。会合参加者は支部全体で 840 名（参加率 44.9%）に達し、多くの会員が積極的に学びの場に参加しました。また、9 月に今年も実施した大交流会には、昨年を大きく上回る 250 名の申込があり、40 周年事業に向けた大きな弾みとなりました。さらに、厳しい環境を突破するため、仲間づくりと魅力ある支部活動の推進に取り組みましたが、会員数は 1,795 名にとどまりました。



一般社団法人北海道中小企業家同友会 札幌・南空知支部 貸借対照表
(2026年3月31現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部		備考	
勘定科目	期首残	期末残	勘定科目		期首残
【流動資産】			【流動負債】		
現金	668,847	994,061	未払金	233,750	15,192
普通預金	14,038,933	12,956,759	前受金	3,920,000	5,000
郵便振替	0	0	預り金	0	0
未収入金	108,400	552,300	未払消費税	674,886	1,017,147
受託事業等未収入金	0	0	前受受託事業等収益	0	0
前払費用	0	45,210	1年以内未払リース料	389,620	0
貯蔵品	108,759	123,771			
図書	0	0	小計C	5,218,256	1,037,339
立替金	-1,700	119,300	【固定負債】		
本部	1,690,042	1,820,682	長期未払リース料	0	0
小計A	16,613,281	16,612,083			
【固定資産】			小計D	0	0
基本財産	0	0	【正味財産】		
特定資産	4,500,000	4,500,000	一般正味財産	16,550,696	20,266,289
固定資産取得引当特定資産	(2,500,000)	(2,500,000)	(内、固定資産取得引当特定資産)	(2,500,000)	(2,500,000)
事務所移転費用引当特定資産	(0)	(0)	(内、事務所移転費用引当特定資産)	(0)	(0)
周年事業引当特定資産	(2,000,000)	(2,000,000)	(内、周年事業引当特定資産)	(2,000,000)	(2,000,000)
その他固定資産	655,671	191,545	(内、部会・研究会)	(7,115,874)	(8,885,858)
建物	(0)	(0)			
建物付属設備	(0)	(0)			
車輛	(36,670)	(4) 4台			
什器備品	(189,201)	(151,361) 長尺印刷機、プロジェクター			
土地	(0)	(0)			
電話加入権	(0)	(0)			
敷金	(0)	(0)			
出資金	(0)	(0)			
リースサイクル預託金	(40,180)	(40,180)			
リース資産	(389,620)	(0)			
小計B	5,155,671	4,691,545	小計E	16,550,696	20,266,289
合計(A+B)	21,768,952	21,303,628	合計(C+D+E)	21,768,952	21,303,628

2025年度貸借対照表・正味財産増減計算書に基づき、帳票・証券類と照合監査を行った結果、正確であり、細心の注意を払って資金の運用管理がなされていることを確認致しました。

2026年4月16日

志田 肇
会計監査

佐藤 孝志
会計監査



一般社団法人 北海道中小企業家同友会 札幌・南空知支部 正味財産増減計算書
自 2023年4月1日 至 2023年3月31日

科目	2023年度予算		2023年度実績	進捗率	公益事業等会計				取組支援等会計				法人会計		内部取引消去			
	2023年度予算				共同求人活動事業		広報宣伝事業		小計		委託事業 (障がい者雇用推進のための 啓発事業)		小計		法人会計		内部取引消去	
	予算	実績			予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績
I 一般正味財産増減の部																		
1. 経常増減の部																		
(1) 経常収益	2,720,000	1,680,000	61.8%															
1) 受取利息収入	6,120,120	6,157,910	100.6%															
2) 受取還元金	0	0	-															
3) 法人運営会費収入	500,000	225,000	45.0%															
4) 事業収益	0	0	-															
公益目的事業収入	15,600,000	18,025,650	115.5%															
学び合い活動会費収入	1,226,000	2,054,000	167.5%															
社員教育研修会費収入	0	0	-															
共同求人活動会費収入	1,712,000	1,658,480	96.9%															
広報宣伝活動会費収入	972,400	972,400	100.0%															
委託事業収入	0	0	-															
5) 受取寄付金	10,000	187,568	1875.9%															
6) 雑収益	28,860,520	30,961,028	107.3%															
経常収益計	25,084,341	23,930,424																
(2) 経常費用	0	0	#DIV/0!															
1) 事業費	0	0	#DIV/0!															
給料手当	0	0	-															
福利厚生	0	0	-															
賞与費	15,355,400	14,127,070	92.0%															
災害費	0	0	-															
図書等販売費用	0	0	-															
研修会費	613,000	791,731	129.2%															
交通費	1,227,600	1,072,504	87.4%															
出張宿泊費	27,900	0	0.0%															
通信費	1,658,437	1,351,179	81.5%															
情報システム整備費	2,286,307	2,078,279	90.9%															
減価償却費	431,636	431,636	100.0%															
消耗什器備品費	279,000	541,351	194.0%															
消耗品費	306,900	294,381	95.9%															
修繕費	883,500	775,217	87.7%															
水道光熱費	0	0	#DIV/0!															
賃借料	0	0	#DIV/0!															
法人資産費用	0	0	#DIV/0!															
リース料	294,255	353,060	120.0%															
諸謝金	626,076	531,828	84.8%															
租税公課	523,030	945,947	180.9%															
委託費	0	0	-															
雑費	581,300	541,972	93.2%															
経常費用計	3,598,749	3,315,011																
2) 管理費	0	0	-															
給料手当	0	0	-															
福利厚生	0	0	-															
会議費	2,550,000	2,405,199	94.3%															
交通費	92,400	80,687	87.3%															
出張宿泊費	2,100	0	0.0%															
通信費	123,130	99,662	80.9%															
ID使用料	0	0	-															
情報システム整備費	112,477	96,796	86.1%															
減価償却費	32,491	32,469	99.9%															
消耗什器備品費	21,000	40,745	194.0%															
消耗品費	23,100	22,127	95.8%															
修繕費	66,500	58,342	87.7%															
印刷費	36,208	28,208	77.9%															
水道光熱費	0	0	#DIV/0!															
賃借料	0	0	#DIV/0!															
法人資産費用	0	0	#DIV/0!															
保険料	350,000	241,761	69.1%															
リース料	22,149	16,936	76.5%															
諸謝金	47,124	47,124	100.0%															
慶弔費	50,000	43,960	87.9%															
租税公課	32,970	71,200	216.0%															
雑費	37,100	28,795	77.6%															
経常費用計	28,693,090	27,245,435	95.0%															
当期経常増減額	167,430	3,715,593																
2. 経常外増減の部																		
(1) 経常外収益	0	0	-															
1) 固定資産売却益	0	0	-															
2) 前期繰越修正益	0	0	-															
(2) 経常外費用	0	0	-															
1) 移転費用	0	0	-															
2) 戻戻回復費	0	0	-															
3) 固定資産売却損	0	0	-															
4) 法人特定資産購入	0	0	-															
当期経常外増減額	0	0	-															
3. 予備金の部																		
予備金	0	0	-															
当期正味財産増減額	167,430	3,715,593																
前期正味財産増減額	16,550,696	16,550,696																
一般正味財産増減額	16,718,126	20,266,289																
II 指定正味財産増減の部																		
指定正味財産増減額	0	0	-															
指定正味財産増減額	0	0	-															
III 正味財産増減の部	16,718,126	20,266,289																

北海道同友会札幌支部 2026年度 幹事・会計監査名簿

(敬称略・順不同)

No	会内役職 (2026)	企業名	役職	氏名	地区会名
1	支部長	(株) ブレンドワークス	代表取締役	前川 裕一	中央東地区会
2	副支部長	新 (有) 久和コーポレーション	代表取締役	久門 和木	北地区会
3	副支部長	(株) 工藤商事	代表取締役	工藤 英人	白石・厚別地区会
4	副支部長	拓北電業 (株)	代表取締役社長	鈴木 暁彦	中央西地区会
5	幹事長	北海道グリーンウェル (株)	代表取締役	石政 健太郎	白石・厚別地区会
6	副幹事長	(株) どんぐり	代表取締役社長	野尻 雅之	白石・厚別地区会
7	副幹事長	(株) ナオキ工芸社	代表取締役	直井 泰憲	北地区会
8	副幹事長	豊昇堂印刷 (株)	代表取締役	山本 耕司	中央北地区会
9	組織・企画委員長	(株) エクシード	取締役部長	寺山 響	中央東地区会
10	総務委員長	(株) レストレイション	代表取締役	目黒 久美子	中央西地区会
11	共育委員長	シオンテクノス (株)	代表取締役社長	村野 篤	東地区会
12	共同求人委員長	新 藤建設工業 (株)	代表取締役	工藤 喜作	中央西地区会
13	経営指針委員長	(株) りんゆう観光	代表取締役社長	植田 拓史	東地区会
14	経営厚生労働委員長	弁護士法人札幌英和法律事務所	副所長社員弁護士	田中 康道	中央西地区会
15	インクルーシブ委員長	(株) ライズエンジニアリング	取締役	柳川 久美子	中央西地区会
16	政策委員長	(有) 谷越印刷	代表取締役	谷越 律夫	東地区会
17	中央東地区会会長	(有) 石井自動車	代表取締役	石井 賢治	中央東地区会
18	中央西地区会会長	(株) C・P・S	代表取締役	小田 晃広	中央西地区会
19	中央南地区会会長	ハヤシ電興 (株)	代表取締役社長	林 隆志	中央南地区会
20	中央北地区会会長	(有) ツーエイ クルミ薬局	代表取締役	赤崎 幸三	中央北地区会
21	東地区会会長	日美装建 (株)	代表取締役	大澤 寛晃	東地区会
22	西・手稲地区会会長	(株) 保険のベストケア	代表取締役	矢島 嘉信	西・手稲地区会
23	南地区会会長	(株) スカイ	代表取締役	佐々木 伸	南地区会
24	北地区会会長	北海道オリンピア (株)	代表取締役	宮本 典英	北地区会
25	白石・厚別地区会会長	バッケージアサズマ (株)	代表取締役	田中 康一	白石・厚別地区会
26	豊平・清田地区会会長	須藤建設 (株)	専務取締役	須藤 隆	豊平・清田地区会
27	千歳・恵庭・北広島・長沼地区会会長	山田農園	代表	山田 誉	千歳・恵庭・北広島・長沼地区会
28	江別地区会会長	(有) 機弘社	代表取締役	前田 昭二	江別地区会
29	中央東地区会幹事長	(株) タフト	代表取締役	酒井 和之	中央東地区会
30	中央西地区会幹事長	札幌総合法律事務所	弁護士	福田 直之	中央西地区会
31	中央西地区会副会長	新 (株) サント・ノーレ	代表取締役社長	西野 光	中央西地区会
32	中央西地区会幹事長	Piece of Support合同会社	執行役員	武山 大祐	中央西地区会
33	中央南地区会副会長	新 (有) ソフトウェア・コンサルタンツ	代表取締役	平山 哲也	中央南地区会
34	中央南地区会副会長	新 北明システム (株)	総務部長	昆 幹夫	中央南地区会
35	中央北地区会副会長	(株) アメック	代表取締役社長	渋谷 昇吾	中央北地区会
36	中央北地区会幹事長	弁護士法人PLAZA総合法律事務所	弁護士	山田 敬純	中央北地区会
37	東地区会幹事長	(株) サン設計事務所	代表取締役	吉岡 雄一	東地区会
38	東地区会副会長	新 社会保険労務士事務所テラス	代表	倉 雅彦	東地区会
39	東地区会幹事長	北嶺不動産 (株)	代表取締役	大石 優司	東地区会
40	西・手稲地区会幹事長	(株) アイム	代表取締役社長	山谷 満紀夫	西・手稲地区会
41	西・手稲地区会副幹事長	新 (株) 鳥太郎	代表取締役	武田 雅弘	西・手稲地区会
42	南地区会副会長	(株) サークルクリーン	代表取締役	藤井 雅規	南地区会
43	北地区会副会長	新 (株) MAKOTO	代表取締役	大和 友幸	北地区会
44	北地区会副会長	新 (株) ワコーバイオケミカル	代表取締役	佐々木 和秀	北地区会
45	白石・厚別地区会副幹事長	FP事務所ROSSO	代表	佐藤 拓哉	白石・厚別地区会
46	白石・厚別地区会幹事長	新 (株) トータル保険事務所	専務取締役	中田 貴司	白石・厚別地区会
47	白石・厚別地区会副会長	(株) 保険クリエーション	代表取締役	金田 保	白石・厚別地区会
48	豊平・清田地区会副会長	(株) A警備24	代表取締役	矢萩 博人	豊平・清田地区会
49	豊平・清田地区会副会長	フィールド・クラブ (株)	取締役	河崎 紀行	豊平・清田地区会
50	千歳・恵庭・北広島・長沼地区会幹事長	(有) 北海道新聞南販売所	代表取締役	南 仁	千歳・恵庭・北広島・長沼地区会
51	江別地区会副会長	合同会社シリカマテリアル	代表社員	高田 哲也	江別地区会
52	未知の会代表世話人	(株) DGフェーリスト	代表取締役	吉野 俊文	中央北地区会
53	未知の会代表世話人	新 (株) 遊プラン	代表取締役	板東 千洋	西・手稲地区会
54	無二の会代表世話人	(株) ライフマップ	代表取締役	大西 克幸	中央西地区会
55	農業経営部会長	(株) あしだファーム	代表取締役	蘆田 裕介	千歳・恵庭・北広島・長沼地区会
56	女性経営者部会長	(有) 栄進カッター工業	代表取締役	若林 優子	白石・厚別地区会
57	後継者ゼミナール起望峰代表	(株) 寿時	常務取締役	壽時 康成	西・手稲地区会
58	国際ビジネス研究会会長	(株) 四季の旅	代表取締役	鄭 眞旭	中央南地区会
59	会計監査	税理士法人吉田会計事務所	代表社員	吉田 肇	中央西地区会
60	会計監査	佐藤寿志税理士事務所	税理士	佐藤 寿志	西・手稲地区会

2026年度 札幌支部 活動方針

■ 支部スローガン

「同友会を活用し、中小企業経営を楽しもう！」

2026年度、札幌支部は「人間尊重の経営」を改めて軸に据え、「人を活かし」「人的資本を育てる経営」の実践を一層深めていきます。

我々中小企業を取り巻く環境は、課題と不安が山積しています。一人で抱え込まず、札幌支部の仲間と自己開示しあい、学びあい、気づきあいながら、互いの成長を支えあい、経営をしている今を楽しみましょう！

■ 札幌支部生誕 40周年！過去最高に盛り上げていきましょう！

温故知新！札幌支部を創造された先達への感謝とともに、恩返しは札幌支部の未来づくりです。祝賀会の大成功とともに、次世代を担う会員づくりの大きな契機にしていきましょう！

■ 参加率の最大化で札幌支部の価値向上を

- ・支部地区幹事、事務局で力を合わせて目標は全会員訪問！支部の一体感をつくりましょう！
- ・学び、知り合うきっかけの拡大を目指し、地区・委員会の合同例会を積極的に行いましょう！
- ・未知の会との連携を強化し、若さも経験も持ち合わせた札幌支部を目指しましょう！
- ・全国・全道の大会へ積極的に参加し、多様な価値観に触れることで、広い視野をもった魅力的な経営者が増えていく札幌支部を目指しましょう！

■ 経営指針運動の強化

何のために経営しているのか、どんな企業を目標とするのか。中小企業、また起業したばかりの経営者にとって、羅針盤となり得る経営指針を確立することは、社員の共感を生み、定着、成長へとつながります。

その高い価値をより多くの会員に知ってもらい取り組みとして、経営指針委員会作成の「**経営指針の導入シート**」を各例会にてフル活用し、「**みんな知っている経営指針**」へ認知度を高め、「**もっと学ぶ研究生**」の最大化を目指しましょう！

■ 心の通う支部づくりへ

同友会は、ただ学ぶだけの組織ではなく、「人と人がつながる場」です。スポーツ例会や納涼会、ランチ会など、普段とは違うシーンでの活動を通じて、より広い関係性づくりに取り組み、会員同士の信頼と絆をどんどん深めていきましょう！

■ 仲間を増やし、未来へつなぐ

札幌支部40周年の会員数目標は1900名会員！各地区会で**会員数5.9%増**を全員の力で達成し、地域経済を担う札幌支部を目指しましょう！

以上の方針のもと、札幌支部は会員一人ひとりが「同友会を活用して経営を楽しむ」取り組みに全力を注いでまいります。皆様、今年一年、何卒よろしく願いいたします

中央東地区会

■中央区：大通より南側・西6丁目より東側の地域

■会員数：172名（2026年3月末）

2025年度 活動のまとめ

<活動テーマ>

「同友会の活用・魅力の発見！」

<活動方針>

- ①各委員会とのコラボ例会を多数企画し、学びの軸づくりを目指します。
- ②各月の例会を通じ、より良い企業づくりのために本気で経営の課題や悩みを語り合える仲間づくりを目指します。
- ③会歴、年齢、性別、役職を越えて全会員が主体的に参加できる地区会活動を目指します。
- ④会員企業訪問や移動例会など新たな例会を企画し、お互いを知りより新たな仲間を誘いやすい地区会づくりを目指します。
- ⑤エリアマップを作成、QRで多くの会員に告知することでWINWINの関係づくりを目指します。

[活動の振り返り]

外部環境が厳しさを増す中、参加者が自社の経営に活かせる例会づくりに取り組みました。年間12回の地区例会の内、8回を各専門委員会・地区会と合同で開催。また10月には南空知支部と、支部を跨いだ合同例会も開催し、例会参加者は1年間で約425名となりました。会員同士に留まらず、まだ入会していない経営者の方をお誘いしたゲスト参加も定着し、新規入会者は地区年間で17名となりました。



→「すすきのMAP」は、こちらの二次元コードよりアクセスして下さい。

2026年度 活動方針

<スローガン>

「行こう！学ぼう！語り合おう！参加したくなる同友会」

<活動テーマ>

今年度は会員一人ひとりが有する固有の魅力や強みを引き出し、相互理解を深めながら人的ネットワークの構築と結束力を高め、活気のある交流の中で学び合い、共に成長できる地区会運営を目指します！

<活動方針>

- ①学びの中に楽しさ、楽しさの中に学びが有る運営を目指します。
- ②各月の例会を通じ、より良い企業づくりのために本気で経営の課題や悩みを語り合える仲間づくりを目指します。
- ③会歴、年齢、性別、役職を越えて全会員が主体的に参加できる地区会活動を目指します。
- ④会員企業訪問や移動例会など新たな例会を企画し、お互いを知りより新たな仲間を誘いやすい地区会づくりを目指します。
- ⑤すすきのMAPの活用！二次元コードでより多くの会員に告知していきます。

2026年度 中央東地区役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	会長	(有) 石井自動車	代表取締役	石井 賢治	○	総務
2	副会長 (新)	(株) OWL (スナックストリート)	代表取締役	酒井 圭介		組織・企画
3	〃 (新)	(株) GIFカンパニー	代表取締役	福田 広		経営指針
4	〃 (新)	(株) ホクラミ	代表取締役社長	矢吹 英俊		
5	幹事長 (新)	(株) タフト	代表取締役	酒井 和之	○	
6	幹事	(株) イークリーン	会長	三浦 崇幸		
7	〃	eiki design workshop	<small>ディレクター・デザイナー・照明コンサルタント</small>	木村 英樹		
8	〃	(株) エクシード	取締役部長	寺山 響	◎	組織・企画
9	〃	(株) 俺STUDI0	代表取締役社長	高橋 伸知		
10	〃	札幌シティ法律事務所	弁護士	小林 晃		
11	〃	(株) 進幸	代表取締役	渡邊 典子		経営厚生労働
12	〃	(株) Space Art	代表取締役	境田 直樹		
13	〃	(株) TSUDOI	COO	佐藤 直樹		
14	〃	(株) T.Kワークス	代表取締役	川浦 貴秀		
15	〃	中山Drive法律事務所	代表	中山 雄太		
16	〃	日本総合商会 (株)	代表取締役	町田 武文		
17	〃	ハイダ商事 (株)	代表取締役	拝田 昇		
18	〃	北清商事 (株)	専務取締役	古谷 仁		
19	〃	マイコーチングオフィス	代表	中村 舞		
20	〃	丸徳フードサービス (株)	代表取締役	徳永 勝仁		
21	〃	(有) 水戸青果	代表取締役	水戸 康人		
22	〃	RITA税理士法人	社員税理士	山美 太生		
23	〃	(株) レオールツーリスト	代表取締役	本林 康雄		総務
24	〃 (新)	(株) ブレンドワークス	代表取締役	前川 裕一	◎	
25	〃 (新)	(株) ALLF	代表取締役	保志 亮輔		
26	〃 (新)	(株) 札幌サニター	代表取締役	種田 直人		
27	〃 (新)	チエモク (株)	代表取締役	三島 千枝		経営指針
28	〃 (新)	ナルシステムズ (株)	代表取締役社長	小柳 勝範		

中央西地区会

- 中央区：大通より北側・西7丁目より西側の地域
- 会員数：203名（2026年3月末時点）

2025年度 活動のまとめ

<スローガン>

来てよし、つくってよし、中央西

中央西は「The同友会」といわれるほど同友会のあるべき姿の地区会であります。その中西イズムというべき姿を継承しつつ、オープンでフラットな雰囲気を更新してまいります。受容・共感・多様性を尊重し、参加した会員さん、例会を作ってくれた幹事の皆さん、互いの会社やそこで働く社員さんの「三方よし」の実現を目指します。

<活動報告>

毎月学びある例会を開催した。担当となった幹事の方々に趣向を凝らした様々なテーマを用意していただき、会員をより知る事ができ、互いをより理解し合える機会となった。

開催日	例会タイトル	参加人数
2025/4/17	2025年度活動方針発表会	32名
2025/5/28	中央西地区会を知ろうー同友会と私ー	36名
2025/6/23	転ばぬ先の予防法務 ～経営者が押さえておくべき労使リスクの勘所～	26名
2025/7/23	本当に経営者保証はなくなるのか？「事業性融資推進法」を検証する	23名
2025/8/29	来てよし、話してよし、つながってよし～気軽に話して、仲間を知る納涼のひとつき～	33名
2025/9/26	「第40回全道経営者”共育”研究集会」jinくしろ	7名
2025/10/30	13名だった会社が4年で新卒採用7名！ 離職者ゼロ！ 株式会社フジから学ぶ中小企業採用と定着の秘訣！	20名
2025/11/27	経営のゴールを語る ～あなたはどうか考えますか～	48名
2025/12/19	中央西地区会望年会	50名
2026/1/8	新年会 丙午(ひのえうま) 陽の力で、中西の団結力を強めよう！	31名
2026/2/3	札幌支部2月例会ー経営指針の実践で 強い企業づくりと経営姿勢の確立ー	19名
2026/3/26	「その会社、本当に大丈夫？」ー登記から見抜く“危ない会社”のサインー	22名

※第13期リーダー共育講座について

今期は最低人数に満たなかったため中止。しかし、次年度の開催に向けてサポーター一同で内容のブラッシュアップを図った。

2026年度 活動方針

<スローガン>

来てよし、つくってよし、中央西2

昨年は、「来てよし」と思える中央西地区会にしようとスローガンを掲げました。本年は「つくってよし」と思える、しっかりと例会づくりを重点に置きます。

そして、例会を通して、会員さん同士が、互いを知り、つながれる場の提供、中央西地区会員さんが年に1回は同友会を活用していただけるように、幹事の皆さん共々、コミュニティの形成に取り組んでいきます。

<活動内容>

【例会・イベント】

- ・中央西地区会員のみなさんが主役の例会づくりを行います。
- ・ランチ会の開催で幅広く参加できる環境を作ります。
- ・委員会に紐づく例会も行います。
- ・会歴、世代を問わず、多くの会員が集まり、親睦を深められるイベントを開催します。
- ・他地区との交流を深め、親交を広げられる活動を行います。
- ・中央西LINEに会員が登録し、例会イベント案内を積極的に行います。
- ・幹事のほか、例会サポーターを募り、例会づくりの楽しさを学びます。

【リーダー共育講座】

- ・会員企業の社員さんが学べる場づくりとサポートする経営者にとっても気づきのある講座を行います。
- ・中央4地区に協力、サポートをいただき、開催します。

支部幹事/地区会選出○、支部・委員会・部会選出◎

2026年度 中央西地区会役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	会長	(株) C・P・S	代表取締役	小田 晃広	○	
2	副会長	(株) マッシモ	代表取締役	治山 孔		
3	副会長(新)	(株) サント・ノーレ	代表取締役社長	西野 光	○	
4	幹事長	札幌総合法律事務所	弁護士	福田 直之	○	インクルーシブ
5	副幹事長	Piece of Support合同会社	執行役員	武山 大祐	○	
6	// (新)	中村憲昭法律事務所	弁護士	中村 憲昭		
7	幹事(新)	(株) ARDEM	専務取締役	荒木 雅敬		
8	幹事	(株) インブルーブ	代表取締役	吉田 潤生		
9	//	(株) エコフィールド	代表取締役	安富 聖慈		
10	//	FRSコーポレーション(株)	代表取締役	徳島 秀彦		組織・企画
11	//	(株) 環境リサーチ	代表取締役社長	森本 英嗣		
12	// (新)	(株) CREATION.M	取締役	前川 涼子		
13	//	(株) KNこーぼれーしょん	代表取締役	金城 錦花		共育
14	//	(株) 恒栄工業	代表取締役	上原 伸也		共同求人
15	//	(株) 札幌カントリー倶楽部 滝のカントリー倶楽部	支配人	藤枝 臣春		
16	// (新)	(株) ズック	代表取締役	亀山 圭一		経営指針
17	//	(株) スタンドエステート	代表取締役	立崎 正英		
18	//	司法書士加藤真紀事務所	司法書士	加藤 真紀		
19	//	司法書士・行政書士小松洋輔事務所	司法書士	小松 洋輔		
20	//	(株) テスク	代表取締役	丹 英司		
21	//	(株) トライ	代表取締役	芳賀 直史		
22	//	(有) ファイン・ケア	代表取締役	中松 知真		
23	//	(有) プラスメディア	代表取締役	島津 明美		
24	//	社会福祉法人水の会	理事長	瀬川 信子		
25	//	(株) メディア・マジック	取締役総務部長	長瀬 恵里子		
26	//	(株) 雪研スノーイーターズ	代表取締役	大槻 政哉		経営指針
27	//	(株) レストレイション	代表取締役	目黒 久美子	◎	経営厚生労働、総務

中央南地区会

■中央区:大通より南側・西7丁目より西側の地域

■会員数:142名(2026年3月末)

2025年度 活動のまとめ

今年度は、1. 経営指針づくりを進め、よい経営者、よい会社、よい経営環境をつくって、「人を生かす経営」を実践します。2. 例会中心の活動を行い、例会を会員相互の「交流の場」、「学びの場」とします。3. 多くの会員を迎えるとともに、退会者の出ない会活動を行います。を基本方針として活動をしてきました。

1 組織目標

155名の会勢を掲げて会勢拡大に努めてきましたが、3月末現在、入会10名、退会14名、転籍1名、期首より5名減の142名会員となりました。

2 組織体制・組織活動

昨年度より三役会を定期開催してきましたが、今年度は、三役の負担も考慮して3か月に1回程度開催しました。幹事会の出席率は39.1%にとどまりました。3月までの例会への参加者(他地区会員も含む)は349人で、1回の平均参加者は29人でした。今年度は、亀田と土田で、会員企業5社を訪問し、会社の歴史、主な業務、同友会への入会のきっかけ、会社の将来等について有意義なお話を聞き、ライングループに内容をアップしました。

3 活動

2025年度の例会の内容については、「2025年度中央南地区会活動報告」のとおりです。今年度は、「会員企業PR」(5月)、「ChatGPT講座」(7月)「大納涼例会」(8月)、全会員告知例会「模擬裁判」(9月)。羊蹄山麓最晩秋のニセコへを楽しむ大人の旅(10月)、「日本と韓国の関係性について理解を深めよう!韓国副領事を講演者にお招きして」(10月)、「赤レンガ庁舎令和の大改修」(11月)、恒例の大望年会(12月)、支部例会後の5地区合同懇親会(2月)、などの多彩な例会を開催して学びと交流を深めました。

「経営指針研究会報告会」(3月)を経営指針委員会と共催し、中村副委員長に「経営指針」についての講演をしていただき、経営指針研究会、実践ゼミに参加した6名の会員が1年間の成果を報告しました。

地区会員の情報共有の場としてのライングループの登録者数は73名となりました。ライングループを通じて、「バザー」、「落語」、「ピアノコンサート」、「獅子舞上演」、「ジャズコンサート」等が案内され、会員の交流がされました。

2026年度 活動方針

*組織目標 150社

- ・新入会員の増強は及び、退会会員の縮小を目指します。
- ・例会において、勉強会のほか、新入会員及び出席率の低い会員に対しては、まずは、出席しやすい、ソフト例会に積極的に参加を推し進めます。
- ・例会参加者に対して、1回きりではなく、引き続き出席していただくよう、フォローアップを行い、参加者の増加による、会の活性化を図ります。

*基本方針

集いの場で、様々な出会いを通じて、地区会会員の絆を紡ぐ。

*活動方針

- ・ハード例会(勉強会)とソフト例会(懇親会等)を複合的に活かし、地区会会員同士の学びと交流の活性化を目指しましょう。
- ・例会活動においては、ハード例会では、定番の「私の履歴書」のほか、「模擬裁判」、「駐札幌大韓民国総領事館様 講和」、ソフト例会においては定番の「味の散歩道」、「望年会」のほか「特別例会(ニセコ・天売、焼尻島)」と、中央南地区独特の例会を開催できる、様々な業種の会員が所属しています。その強みにより、例会の魅力度を上げ、新入会員の増強や、ご無沙会員の参加率アップを促し、更なる会の活性化を進めましょう。
- ・有志活動においては、ゴルフのほか様々なことに活動を広げ、会員同士の絆を深めていきましょう。
- ・例会毎に一言自己(会社)PRタイムを設け、業種や仕事内容を知ることにより、各会員の経営問題や悩み解消する糸口とし、健全な経営基盤の確立を目指しましょう。

2026年度 中央南地区会役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
	相談役	(株) 寿時	代表取締役社長	寿時 康二		
	顧問	コンチネンタル貿易 (株)	代表取締役	本間 良二		
	〃	(株) ジャワティー・ジャパン	代表取締役	越智 けい子		
	〃	セントラル法令オフィス	代表	村田 菊男		
	〃	北海葬祭 (株)	参与	松井 高志		
1	会長 (新)	ハヤシ電興 (株)	代表取締役社長	林 隆志	○	経営厚生労働
2	副会長	NPO法人障がい者就労支援の会	あかり家 施設長	妻倉 ゆかり		インクルーシブ
3	〃	合同会社プラスエム	代表社員	長谷川 久美子		
4	〃	北明システム (株)	総務部長	昆 幹夫	○	経営厚生労働/共育
5	〃 (新)	(有) ソフトウェア・コンサルタンツ	代表取締役	平山 哲也	○	経営指針
6	〃 (新)	はやしの企画 Hayashi's Planning	代表	林 正治		
7	幹事	(株) アイチフーズホールディングス	代表取締役社長	森谷 有紀子		
8	〃	(株) 阿部塗装店	代表取締役	阿部 直光		
9	〃	(株) OLIVE' S	代表取締役	内田 湖樹		
10	〃	亀田成春法律事務所	弁護士	亀田 成春		経営指針
11	〃	(株) 環器	代表取締役	滑川 眞永		
12	〃	北電力設備工事 (株)	専務取締役	伏木 康		
13	〃	熊谷亘泰事務所	所長	熊谷 亘泰		組織・企画
14	〃	啓明法律事務所	弁護士	薄木 宏一		経営厚生労働
15	〃	見野法律事務所	弁護士	見野 彰信		
16	〃	(株) KONiSI	取締役	小西 由子		
17	〃	(株) 志桜	代表取締役	木川 真喜子		共同求人
18	〃	(株) 四季の旅	代表取締役	鄭 眞旭	◎	経営指針
19	〃	税理士法人すずらん総合マネジメント	代表社員	山谷 謙太		経営指針
20	〃	(株) 高砂不動産	代表取締役	江口 豊		
21	〃	たからべ司法書士事務所	代表	財部 朗		
22	〃	(株) デイズ建築設計事務所	代表取締役	高橋 大輔		
23	〃	(株) ノースメディア	代表取締役	安居 潔人		
24	〃	パートナーズ研究所	代表	土倉 玲子		
25	〃	(株) フリード	代表取締役	佐藤 智裕		
26	〃	弁護士法人PLAZA総合法律事務所	札幌事務所 副所長・行政書士	関上 健一郎		経営厚生労働
27	〃	(株) 三剣製粉所	代表取締役	黒澤 毅彦		
28	〃	山崎建設工業 (株)	代表取締役社長	江野 英嗣		総務
29	〃	(株) ヤブシタ	常務取締役	山下 英丈		共同求人

中央北地区会

■中央区:大通より北側・西6丁目より東側の地域

■会員数:110名(2026年3月末)

2025年度 活動のまとめ

2025年度は活動方針の「学べる」を中心に活動を行いました。

①地区会会員の知識や経験から学ぶ

中央北地区会のシリーズ企画として続く、入会間もない会員が自身と自社を語る第45回・第46回「遠友座談会」を実施しました。例会にはグループ討論や質疑応答を毎回取り入れ、地区会会員の経験や知識から学び合いました。

②会員同士が交流しやすい地区会づくりの促進

地区会活性化を目的に新しい仲間を迎えようと、2月例会では未入会の経営者に地区会活動を紹介する「Join to the 中北」を開催し、ゲスト8名を含む43名が参加しました。懇親企画では会員同士が繋がる工夫を幹事全員で考え、参加者全員が楽しめる雰囲気づくりをとおして15名の新会員を迎えることができました。

③全道の会員との交流を図る

昨年度から交流が続く西胆振支部と、6月は合同例会を行い、9月例会では西胆振支部から報告者を招きました。また11月は中央西地区会と合同例会を開き、地区会外での学びと交流がより深まりました。「第40回全道経営者“共育”研究集会inくしろ」では、10月に地区会員による参加報告例会を開き、全道の会員からの学びを共有し、地区活動の活性化に繋がりました。

2026年度 活動方針

出会える・学べる・楽しめる

《出会える》

- ・相談したい、話を聞いてみたい等の、学ぼうとする、出会おうとする会員が地区会の場を活用して出会える場を提供します。

《学べる》

- ・会員の学びや経営での実践例など、より具体的に会員の課題解決や経営のレベルアップ等の学びにつながる例会を企画・実施します。

《楽しめる》

- ・例会後の懇親会や親睦企画を通じ、会員の経営や背景を知る機会をつくり、会員同士を知り、会員の輪を広げます。
- ・2026年は活動方針の「学べる」を中心に活動します。会員が成長でき、業績が上がり、最終的に地域に貢献できるような経営者であり、企業になるきっかけ作りができるよう活気ある、刺激のある地区会運営を行います。

2026年度 中央北地区会役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	会長	(有) ツーエイクルミ薬局	代表取締役	赤崎 幸三	○	経営指針
2	副会長	(株) アメック	代表取締役社長	渋谷 昇吾	○	
3	〃	(株) CHUE MUSIC	代表取締役	荒井 純一		
4	〃	(株) デンシヨク	専務取締役	大沼 洋之		経営厚生労働
5	幹事長	弁護士法人PLAZA総合法律事務所	弁護士	山田 敬純	○	経営厚生労働
6	幹事	曲堀 幸和産業 (株)	代表取締役社長	堀内 駿		組織・企画
7	〃	菊地税理士事務所	代表	菊地 正人		経営指針
8	〃	医療法人社団K2 北2条歯科クリニック	事務長	二俣 博信		総務
9	〃	(株) こうわ	代表取締役	大澤 寿樹		インクルーシブ
10	〃	スタークリエイツ (株)	代表取締役社長	梅沢 太一		政策
11	〃	太陽旅行 (株)	代表取締役	高橋 博音		政策
12	〃	(株) パラマウントグロース	代表取締役	榎本 洋		共育
13	〃	(株) プロネス	専務取締役	冬月 さやか		インクルーシブ
14	〃	(株) PROBIT	代表取締役	坂田 陽一		共同求人
15	〃	豊昇堂印刷 (株)	代表取締役	山本 耕司	◎	
16	〃	北洋自動車 (株)	代表取締役社長	田中 悟		組織・企画
17	〃	マルゲン観光 (株)	常務取締役	崔 世憲		組織・企画
18	〃	(株) やまもく	代表取締役	山口 雄大		共同求人
19	〃	リーディング社会保険労務士法人	代表社員	湊 秀樹		経営厚生労働
20	相談役	BLUESHEEP (株)	代表取締役	杉本 英範		経営厚生労働/総務

2025年度 活動のまとめ

『活動テーマ』

時流(じりゅう)適応(てきおう)

～時代の最新情報を取り入れ、柔軟に行動できる経営者となる～

●活動報告

【例会】

5つの例会グループが年間2つの例会を担当して、合計10例会を実施しました。活動テーマのもとそれぞれが自由な発想を持って組み当てていただき、学びと気づきある例会を行うことができました。

【新たなスタート】

社員と経営者が共に育つことを目的とした「学びすとe倶楽部」が、今年度から名称を「学びすと」と変えて再スタートいたしました。グループディスカッションの中からそれぞれの課題を見つけ、職場での実践や振り返りを中心としたプログラムに変更しました。受講生同士の本音の語り合いを通して、よりそれぞれのスキルアップや課題解決に近づける内容に刷新いたしました。新生学びすとは8社11名の卒業生を輩出しました。

【仲間づくり】

北地区会との合同例会、中央東地区会・西・手稲地区会との合同望年会、札幌支部例会後の5地区合同懇親会など、他地区との交流を深めることができました。その一方、例会参加率の減少、会員目標数の大幅未達など、地区会活性化については課題が残りました。

2026年度 活動方針

『活動テーマ』

衆志結集 (しゅうしけっしゅう)

～巻き込み大作戦・・・集まろう、学ぼう、語ろう、声かけよう～

■基本方針

地区会の活力は人とのつながりから生まれます。本年度は「巻き込み大作戦」のもと、それぞれが仲間を巻き込み、同友会の輪を広げることを目指します。そして「よい会社を作ろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」の三つの目的のもと、素敵な気づきや出会い、そして実践に繋がる活動を行うものとします。

●活動方針

【例会づくり、組織づくり】

例会は「参加する場」から「関わる場」へとなるよう、企画段階から会員を巻き込み、役割を分かち合いながら、学びと気づきのある例会づくりを行います。また、声をかけあい、支え合う組織づくりを通じて、参加しやすく、居心地のよい地区会づくりをし、会員同士のつながりをより強固なものにします。

【学び、人づくり、仲間づくり】

同友会活動の原点である「人づくり」を大切にし、学びを実践につなげる地区会を目指します。

他地区会との交流や新しい仲間づくりに努め、出会いや学びから新しい発見や気づきを得て自社や自分自身を見つめ直す機会を増やし、互いに刺激し合いながら成長していきます。また昨年新たなスタートを切った「学びすと」もより充実した社員共育の場としていきます。

【情報発信、会員サポート】

地区会活動の見える化と参加へのきっかけづくりのためにSNSを利用した情報発信を行います。また会員へのサポート体制を強化し、例会参加率を向上していきます。退会防止そして新規入会につながるよう努め、会員数205名を目指します。

2026年度 東地区役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	会長	日美装建（株）	代表取締役	大澤 寛晃	○	
2	副会長	遠藤起予子社会保険労務士事務所	所長	遠藤 起予子		経営厚生労働
3	〃	大平洋建業（株）	代表取締役社長	佐藤 誠		共育
4	〃	（株）アックス	代表取締役	掛水 武		
5	〃	レディマーク	代表	福澤 由佳		政策
6	〃	社会保険労務士事務所テラス	代表	倉 雅彦	○	インクルーシブ 経営厚生労働
7	〃	（株）フジソー	代表取締役	樋口 直樹		経営指針
8	〃	野外科学（株）	代表取締役社長	高岡 伸一		
9	〃	神童商事（株）	課長	久保 智		経営厚生労働
10	幹事長	（株）サン設計事務所	代表取締役	吉岡 雄一	○	総務
11	〃	北嶺不動産（株）	代表取締役	大石 優司	○	
12	顧問	（有）谷越印刷	代表取締役	谷越 律夫	◎	政策
13	幹事	（株）エンウィル	代表取締役	金田 清一		
14	〃	及川税務会計事務所	代表	及川 恵		政策
15	〃	カサシマ建設（株）	代表取締役	笠島 守		
16	〃	（有）上島保険事務所	代表取締役	上島 史博		
17	〃	（株）ケルプ研究所	代表取締役	福士 宗光		経営指針
18	〃	（株）SAPPORO EAST CONSULTING	代表取締役	駒ヶ嶺 剛史		
19	〃	社会福祉法人さっぽろひかり福祉会	常務理事	小畑 友希		インクルーシブ/政策
20	〃	（株）たいわや	代表取締役	中村 文昭		経営指針
21	〃	大建産業（株）	代表取締役	門脇 勝洋		経営指針
22	〃	（株）テズホーム	代表取締役	角 航兵		
23	〃	時計台バス（株）	代表取締役社長	木村 高庸		政策
24	〃	（株）ナンシンデザイン	代表取締役	石黒 哲也		
25	〃	ニッコー保障（株）	常務取締役	種村 愛		
26	〃	NPO法人フードバンクイコロさっぽろ	理事長	片岡 有喜子		
27	〃	（有）牧野商事	代表取締役	牧野 司		組織・企画
28	〃	マルサン塗料（株）	代表取締役社長	立花 秀樹		経営指針 経営厚生労働
29	〃	（株）りんゆう観光	代表取締役社長	植田 拓史	◎	経営指針
30	〃	（株）レックスコーポレーション	代表取締役	谷口 良太		

2025年度 活動のまとめ

2025年度は、これまでの伝統を踏襲しつつ、新しい運用として地区会の枠を超えた複数地区を巻き込んで開催するレクリエーションや例会などを行いました。これまでのメンバーに加えて、新会員やこれまで参加してこなかった会員を積極的に出席してもらえるような体制作りに注力してきました。

また、同友会の各委員会における学びを元に、特に委員や幹事が重要と考えるテーマで例会企画を行い、共育や経営指針、経営・厚生・労働などの諸課題といった、経営者にとって重要なテーマについて勉強できる機会を、委員会未加入の会員企業も得られるような運用を心がけました。

ウクライナ情勢や中東情勢をはじめとした戦争・紛争による原油等の燃料費の上昇、また昨年来続く食料品など生活に関わるすべての費目でのインフレが進んだことによる物価の高騰や原材料費の高騰、また大企業を中心とした賃金引き上げの圧力や社会保険料の引き上げ、増税と変わらない各種控除枠の縮小など、私たち中小企業経営者にとって、非常に厳しい状況が生まれつつある状況で、しかもそれが現在進行形で悪化する状況となっています。

世界的にも景気後退局面の入口に立っている、私たち日本の中小企業経営者を取り巻く経営環境は悪化を続けていることは明らかではありますが、これらの諸問題・課題に立ち向かうために同友会の仲間たちと手を取り合うこと、そして環境の変化に柔軟に適應することの必要性を改めて痛感する一年でした。

2026年度 活動方針

【2026年度 活動テーマ】

温故知新

【活動方針】

1. 「古きを温めて新しきを知る」多くの先輩・レジェンド会員の話から学びを深めます。
2. 改めて過去の知識や経験を各人が振り返り、そこから新しい発見や学びを深めます。
3. すべての会員が主役になれる場面を用意できる「楽しめる例会作り」をします。

2026年度 西・手稲地区会役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	会長	(株)保険のベストケア	代表取締役	矢島 嘉信	○	経営厚生労働
2	副会長	(株)専秀堂	代表取締役	中川 伸行		
3	〃	RAFTE (有)	取締役	源 真紀		総務
4	〃	シオジリプラス(株)	代表取締役	塩尻 一也		共育
5	〃 (新)	吉成智司法書士事務所	司法書士	吉成 智		経営厚生労働
6	幹事長	(有)プロウエイ	代表取締役	山田 博久		組織・企画
7	〃 (新)	(株)アイム	代表取締役社長	山谷 満紀夫	○	
8	〃 (新)	(株)壽時	常務取締役	壽時 康成	◎	
9	〃 (新)	(株)テンズホーム	取締役	大浦 典		
10	副幹事長	合同会社THD建築	代表社員	東方田 慎二		
11	〃	合同会社プロジェクトノウワット	代表社員	渡辺 裕介		経営指針
12	〃	(株)トレリハ	代表取締役	綿谷 美佐子		
13	〃	司法書士事務所First	司法書士	番井 菊世		
14	〃 (新)	(株)鳥太郎	代表取締役	武田 雅弘	○	
15	相談役	幡本印刷(株)	代表取締役社長	加藤 景		総務
16	〃	(株)レポートサービス北海道	代表取締役	西田 宙文		政策
17	〃 (新)	(株)レイジックス	代表取締役	敬禮 匡		共同求人
18	幹事	(株)ダスキンスズらん	代表取締役社長	宮内 啓子		組織・企画
19	〃	(株)ユニティ	代表取締役専務	井口 信幸		政策
20	〃	FPプロダクツ(株)	代表取締役	千葉 雅可		組織・企画
21	〃	(株)吉田食販	代表取締役	吉田 昌志		
22	〃 (新)	日美装建(株)	取締役部長	村岡 剛		
23	〃 (新)	メデル蝦名建業(株)	代表取締役	蝦名 大典		

南地区会

■南区

■会員数: 48名(2026年3月末)

2025年度 活動のまとめ

南地区会は、札幌支部12地区会の中で一番会員数が少ない地区会です。しかし、小規模であることを逆にとり、お互いの顔が見える地区会づくりを念頭に、学びと交流の場を提供してきました。

①学びと交流を深める例会の実施

地区会の新会員の皆様に積極的に例会報告者をお願いし、「地区会員同士を知ること」を目的とした例会を開催しました。また、他地区会から報告者をお呼びしての例会も実施しました。

②会員が「参加したい!」と感じられる例会づくり

納涼会や望年会、新年会など、顔と顔を突き合わせた交流会を積極的に開催しました。また、キャンプ例会やダム見学会など、座学だけでなくフィールドワーク型の例会も開催しました。

③魅力的な地区会づくり

魅力的で参加しやすい地区会づくりに取り組みました。ベテラン経営者から若手経営者まで幅広くばらんに語り合える環境づくりに力を入れ、年間を通して平均25%ほどの例会参加率を維持してきました。

2026年度 活動方針

テーマ：人がつながり、学びが深まり、前向きになれる南地区会

1. 参加しやすく、親しみやすい地区会づくり

南地区会は、初参加や久しぶりの参加でも安心して足を運べる、開かれた雰囲気大切にします。「ちょっと行ってみよう」と自然に思える地区会であり続けます。

2. つながりを深める学びの場

難しい例会に偏らず、遊びも交えながら、リラックスした雰囲気の中で、成功も失敗も+含めた経験や知識を惜しみなく共有します。

本音で語り合える学びと、深いつながりを育みます。

3. 迷ったら、南地区会

ふらっと来て、話して、つながれる場所を目指します。

2026年度 南地区役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	顧問	(有) 北海道新聞岸販売所	代表取締役	岸 信行		
2	〃	(株) 補償セミナー	代表取締役	中野 芳		総務
3	〃	(株) 宏陽	代表取締役社長	高島 幸志朗		
4	会長	(株) スカイ	代表取締役	佐々木 伸	○	
5	副会長	(株) サークルクリーン	代表取締役	藤井 雅規	○	
6	〃	司法書士すみかわ事務所	司法書士	鈴木 郁子		経営厚生労働
7	〃	(株) サイクルロード	代表取締役	野澤 健		組織・企画
8	幹事	(株) アカシヤビルサービス	代表取締役	三浦 貴之		
9	〃	藤川 (株)	取締役	藤川 一弘		
10	〃	吉田農場 札幌パークゴルフ石山	代表	吉田 健一		
11	〃	三和美建工業 (株)	代表取締役社長	多田 和則		
12	〃	(有) クローバー観光	代表取締役	岡 謙司		
13	〃	(株) メディア・マジック	執行役員	里見 翼		
14	〃	税理士岡崎克明事務所	所長	岡崎 克明		
15	〃	(株) 東洋美装	代表取締役社長	高橋 愛美		
16	〃	(株) 菊地	専務取締役	菊地 大輝		
17	〃	KSビジネス	代表	清水 和好		
18	〃	肉酒場J	代表	草住 翔太		
19	〃 (新)	北央コンサルティングサービス (株)	代表取締役 不動産鑑定士	竹内 準		

北地区会

■北区・石狩市・当別町

■会員数:174名(2026年3月末)

2025年度 活動のまとめ

【スローガン】

「守・栄・理の精神で企業を強く」

【活動方針】

- 学び愛:経営課題の解決に向けた例会。
- 認め愛:互いの個性、経験を共有する。
- 成長し愛:経営者として成長し、自社も発展させる。

■例会(学び愛、認め愛、成長し愛)

- 5月:一泊例会 山郷SANGO(小樽市)にて
- 6月:会社が変わる経営者のかかわり方~ポジティブで効果的なかかわり方を探る~
(TM研究所 代表 船木 幸弘 氏)※西・手稲地区会と合同開催
- 7月:AI時代を勝ち抜く中小企業の羅針盤~生成AIが拓く未来のビジネス戦略と実践~
(おつよコンタクト(株) 代表取締役 柳 剛志 氏)
- 8月:納涼例会
- 9月:心の反応が変わるメンタルのタネ明し!~日本一楽しいメンタル講座~
(株)イシキスト 代表取締役 山田 康博 氏)
- 10月:DX例会 第四弾「気づける現場」が、生産性を跳ね上げる!
(経済産業省北海道経済産業局地域経済部製造・情報産業課 係長 矢野 弘雅 氏
株式会社フォーバル GDXリサーチ研究所所長 平良 学 氏)
※東地区会との合同例会
- 11月:望年会
- 1月:新年交礼会&地区会新年会「人を生かす経営」で会社は変わる!
(株)BeBlock 代表取締役社長 松村 祐輔 氏)
- 2月:後輩経営者へエール!林会長の元気が出る話一夢を持って 夢は叶うー
(株)エース 代表取締役会長 林 博己 氏)
- 3月:石狩発・超地元密着プロ野球チームのゼロからの挑戦
(株)石狩レッドフェニックス 代表取締役 球団代表 老田 よし枝 氏)

■仲間づくり

188名会員を目指して今年度は9名(入会:8名、転入:1名)の新たな仲間を迎え、174名会員(期首180名)で2025年度を終えました。

2026年度 活動方針

【スローガン】

「守・栄・理の精神で、企業と地域の未来を強くする」

北地区会2025年度のスローガンは「守・栄・理の精神で、企業と地域の未来を強くする」です。

「守」:「自主・民主・連帯」の精神を尊重し、経営指針をすべての会員企業が明確にする。

「栄」:良い経営環境のもと強い経営体質を築き、地域と共に持続的に発展する。

「理」:人を生かす経営を追求し、理想的な労使関係を築く。

【活動方針】

- 学び愛:例会では経営課題を取り上げ、会員の経験から学び経営力の底上げを図る。
- 認め愛:互いを尊重して信頼し、参加しやすい地区会をつくる。
- 成長し愛:経営者としての成長が自社の成長に繋がる循環を生み出す。

新年度は190名会員を目標に新たな経営者の仲間を増やし、「参加しやすい」「楽しい」「経営に本当に役立つ」地区会を実現するため、例会内容や運営方法を工夫し、会員一人ひとりが主役となれる活動を推進します。学びと実践、そして人と人とのつながりを通じて、企業の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

2026年度 北地区役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	会長	北海道オリンピア (株)	代表取締役	宮本 典英	○	組織・企画
2	副会長	(株) ナオキ工芸社	代表取締役	直井 泰憲	◎	総務
3	〃	(株) MAKOTO	代表取締役	大和 友幸	○	
4	〃 (新)	(株) ワコーバイオケミカル	代表取締役	佐々木 和秀	○	経営指針、総務
5	相談役	(有) ユニエス	取締役	齋藤 雄一		
6	〃 (新)	(株) 神建設工業	代表取締役	神 正人		
7	グループ長 (新)	(株) A. I. P	支店長	藤田 学		経営厚生労働
8	〃 (新)	おつよコンタクト (株)	代表取締役	柳 剛志		
9	〃 (新)	シオンテクノス (株)	取締役副社長	村野 充		経営厚生労働
10	〃 (新)	(株) ウィルエイト	代表取締役	佐藤 正浩		
11	〃 (新)	Innovation Body (株)	代表取締役	三浦 風太		
12	広報委員長 (新)	(株) エコ・プロデュース札幌	代表取締役	櫻間 絵己		
13	幹事	(株) ビニ・ボナー	代表取締役	平澤 恵		経営指針
14	〃	(株) 札幌空幸舎	代表取締役	渡邊 陽一		経営指針、共育
15	〃	すがさわ法律事務所	代表弁護士	菅澤 紀生		政策
16	〃	陶氏診療院	院長	陶 恵栄		経営厚生労働
17	〃	(株) トータルデザインサービス	代表取締役	西田 高穂		共同求人
18	〃	(株) ケンタ工業	代表取締役	伊藤 真由美		組織・企画
19	〃	札幌ペック (株)	会長	前田 卓哉		共同求人
20	〃	(株) リペアサービス	代表取締役社長	岩泉 賢治		共同求人
21	〃	丸福塗料 (株)	代表取締役社長	福尾 実		共育
22	〃	TM研究所	代表	船木 幸弘		共育
23	〃	一般社団法人FP看護師パートナー協会	代表理事	高梨子 あやの		経営厚生労働
24	〃	(株) 創見	取締役	菅原 野戯		
25	〃 (新)	(株) A警備24	札幌営業所 所長	松川 隆之		
26	〃 (新)	札幌総合法律事務所	弁護士	吉田 友樹示		
27	〃 (新)	医療法人社団和加光会 栄町なごみ歯科	理事長	房川 大地		

2025年度 活動のまとめ

2025年度テーマ

学びも 仲間作りも 真剣に精一杯 活動しよう！

1. 学びと気づきの例会作り

時代やニーズに沿った例会作りを心掛け、地区会員の皆さんが毎月何かの気づきを感じ、社内に持込み落とし込めるような例会を作る。他地区や委員会等との合同例会の企画も積極的に行い、他地区会員様との交流の場を持つ。

→2025年は従業員のメンタルヘルスに関する勉強会や、DX化のより実践に向けた勉強会など、時代に沿ったテーマの例会を開催した。また、インクルーシブ委員会内の社会的養護チームとの合同例会を開催し、札幌支部内組織の活動についての理解と交流を深めた。

2. 対話の機会を作り より良い仲間作りを

性別も年齢も関係なく、この地域の皆さんが気兼ねなく、学びや仲間作りといった場所に白石・厚別地区会を活用していただき、現地区会員様には講義等で成功談や失敗談をご教授いただき、新会員様には積極的に自社PRを行って頂き、地区会員様の中での積極的なコミュニケーションを図り、例会参加者を増やし退会会員を減らし新規会員の増強を行い、白石・厚別地区会員280名を目標とする。

→2025年度は白石・厚別地区会員が報告する例会を5回開催しました。例会参加者は平均51名、地区会内部会を含め延べ888名が参加した。新たに入会された方には必ず自己紹介・自社紹介の機会を設けて参加者の相互理解を深めた。

会勢は、2月に「Join to the 白厚」を開催するなど入会していない経営者の方々をお誘いするなどして、入会19名、退会18名、転入出±0名で期首270名から1名増加して271名となった。

3. 部会 同好会活動を盛り上げよう

引き続き部会や同好会活動で仲間作りや新しい発見を生み出し、若手経営者と先輩経営者の垣根を超えたコミュニティ作りを目指す。

→囲碁クラブ12回、DX勉強会10回、ゴルフ同好会7回、パークゴルフ・ボウリング・キャンプ例会を各1回を開催し、月例会以外にも交流や学び合う機会を設けた。

2026年度 活動方針

2026年度テーマ

いっぱい学び、いっぱい繋がりよう！

1. 学びと気づきの例会作り

時代やニーズに沿った例会作りを心掛け、地区会員の皆さんが毎月何かの気づきを感じ、社内に落とし込めるような例会を作る。他地区や委員会等との合同例会の企画も積極的に行う。学びの時間を増やし、ディスカッションを通し考える時間を増やす。

2. 気軽に参加できる風土作りでより良い仲間作りを

性別も年齢も関係なく、この地域の皆さんが気兼ねなく、学びや仲間作りといった場所に白石・厚別地区会を活用していただき、現地会員様には講義などで成功談や失敗談をご教授いただき、新会員様には積極的に自社PRを行っていただき、地区会員様の中での積極的なコミュニケーションを図り、例会参加者を増やし会社訪問で退会会員を減らし新規会員の増強を行い、白石・厚別地区会員280名を目標とする。

3. 部会・同好会活動を盛り上げよう

従来からの部会や同好会活動で仲間作りや新しい発見や習得を、若手経営者と先輩経営者の垣根を超えたコミュニティ作りを目指します。

今期は更に新部会を立ち上げます。

2026年度 白石・厚別地区会役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	会長	パッケージアサヅマ (株)	代表取締役	田中 康一	○	総務
2	副会長(新)	(株) 保険クリエーション	代表取締役	金田 保	○	組織・企画
3	幹事長(新)	(株) トータル保険事務所	専務取締役	中田 貴司	○	共育/組織・企画
4	副幹事長	FP事務所ROSSO	代表	佐藤 拓哉	○	
5	〃 (新)	北日本重機 (株)	代表取締役社長	丸山 雄司		インクルーシブ
6	〃	(株) grow	代表取締役	佐々木 亮太郎		
7	〃	社労士事務所マリン・ブルー	代表	藤原 しのぶ		経営指針/共同求人
8	〃 (新)	(株) なかしん	代表取締役	高橋 正憲		経営厚生労働
9	〃 (次星会代表)	(株) Pay it Forward	代表取締役	佐藤 文昭		経営厚生労働
10	幹事	合同会社あすな	代表	佐藤 綾乃		経営指針/インクルーシブ
11	〃	(株) アセットプランニング	代表取締役	及川 学		
12	〃	(株) アンサー	代表取締役	春木 崇		
13	〃	(株) ASE	取締役	斉藤 善則		
14	〃	(有) エコテクノベース	代表取締役	宮野 達司		
15	〃	(株) ADA	代表取締役	安達 国博		
16	〃	合同会社オークニック	代表社員	笹川 伸之		
17	〃	(株) 北石電工社	執行役員	奥野 美里		
18	〃	(株) 工藤商事	代表取締役	工藤 英人	◎	経営指針
19	〃	(株) ここもあ	代表取締役	原田 朋憲		
20	〃	ココロとカラダの保健室	代表	濱岡 夕子		経営厚生労働
21	〃 (新)	社会保険労務士法人澁谷オフィス	代表	澁谷 大介		
22	〃	匠プランニング (株)	代表取締役	北嶋 英樹		
23	〃	(株) ソレイユネットシステム	代表取締役	前田 祐美		インクルーシブ
24	〃	(有) 大勝	代表取締役	生川 勝則		
25	〃	(株) 出口塗工店	代表取締役	出口 則夫		共同求人
26	〃	時計台バス (株)	専務取締役	南部 武人		経営指針
27	〃	(株) どんぐり	代表取締役社長	野尻 雅之	◎	
28	〃	New Snack Re. TRY	代表	安立 周平		
29	〃	北海道グリーンウェル (株)	代表取締役	石政 健太郎	◎	総務
30	〃	(株) ミストラル	代表取締役	大杉 幸弘		
31	〃	(株) リューター	取締役副社長	川原 晋仁		共育

2025年度 活動のまとめ

豊平・清田地区会は「つながりを深め、共に学び、共に成長する」のスローガンの基、活動を展開しました。多くの会員が同友会と関わることにより、会員企業の経営発展のきっかけになって欲しいという会長の想いの基、幹事会では例会内容の構築を重点課題として議論し地区会運営を行いました。

【2025年度例会】

- 4月:方針発表会 発表者:須藤建設(株)須藤隆 氏
- 5月:「儲ける」とはなにか ～(元)銀行員が考える強い企業像～講師 AIDE 代表 松岡 正晃 氏
- 6月:食でつながる! おすすめの1軒を持ち寄ろう! ～大公開! この店、教えます! ～
講師 サッポロビール(株)北海道本部 北海道戦略営業部 部長代理 林 佑介 氏
- 7月:Z世代を知り、未来の組織をつくる ～価値観のズレを乗り越える環境づくりとは～
講師: (株)よくなる 代表 櫻井直子 氏
- 8月:100%出席例会(納涼例会)in川見
- 9月:くしろ道研へ参加する
- 10月:「同友会って面白い! 語り合ってみよう! 自分と経営の新しいヒント」
報告者:須藤建設(株)須藤隆 氏
- 11月:お茶から学ぶ～もてなしと間の文化～ 講師 あんと茶と 店長 三瓶 祐希 氏
- 12月:望年例会、緊急企画～インターコンチへ行ってみよう～
- 1月:新年交礼会へ参加
- 2月:細川恵子の生きる道 ～42年の学びと新たな挑戦～
報告者:株式会社えぞりすツアープランニング 代表取締役 細川 恵子 氏
- 3月:中央東、西・手稲3地区会合同 大ボウリング大会

2025年度、豊平・清田地区会は、会員同士のつながりを深め、共に学び合う場づくりを大切にしながら活動を進めてまいりました。特に8月に開催した地区会員100%参加例会では、皆様のご協力により49.7%の参加を達成し、地区会の一体感を感じる機会となりました。また2月の細川恵子氏の例会では、細川さんとのご縁を通じて他地区会・他支部からも多くの参加があり、40名で学びを深めることができました。厳しい時代だからこそ、学びと笑いにあふれる一年となりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

2026年度 活動方針

【スローガン】

「つながる一歩が、会社を変える。」

2026年度、豊平・清田地区会は「つながる一歩が、会社を変える。」をスローガンに掲げ、人と人とのつながりを起点に、学びと行動につながる地区会づくりを進めてまいります。地区会は会長や役員のものではなく、会員一人ひとりのための場です。参加すること、声をかけること、顔を知ること——その最初の一歩が人とのつながりを生み、学びを深め、やがて自社の変化へとつながっていきます。顔が見え、想いが伝わり、実践から学び、自社に持ち帰り行動につながる、そんな地区会を皆さんとともにつくっていきたくと考えています。

原材料費の高騰や人手不足など、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しく、先行きの見えない時代が続いています。だからこそ地区会では、成功事例だけでなく悩みや試行錯誤、失敗も共有しながら、厳しい時代を乗り越えるヒントを得られる学びの場を大切にしていきます。例会での実践報告や企業訪問を通じて、現場のリアルから学び、自社に持ち帰り実践できる気づきを得られる地区会を目指します。

また、新入会員と既存会員が自然につながり、声をかけ合い、学び合える関係づくりを進めていきます。豊平区・清田区という地域にも目を向け、地域の魅力を学び発信することで、この地域で事業を営む価値を再発見していきたいと考えています。仲間とのつながりを深めながら、「参加してよかった」「また来たい」と思える地区会をつくり、会員企業の発展と地域の未来につながる活動を進めてまいります。皆さまとともに学び、挑戦し、この時代を乗り越える力を育てていく一年にしていきたいと思っております。

2026年度 豊平・清田地区会役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	会長	須藤建設(株)	専務取締役	須藤 隆	○	
2	副会長	(株) A警備24	代表取締役	矢萩 博人	○	
3	〃	(有) 富樫政雄商店	代表取締役	富樫 悠平		総務
4	〃	フィールド・クラブ(株)	取締役	河崎 紀行	○	
5	幹事	(株) あいプラン	代表取締役	新道いくみ		
6	〃	(株) アクアグレース	代表取締役	小仲 崇哲		
7	〃	(株) インフォマテリア	代表取締役	石川 辰義		政策
8	〃(新)	NK北海道(株)	代表取締役	本間 竜太		
9	〃	(株) 大橋冷機	代表取締役社長	塚本 教博		経営厚生労働
10	〃(新)	北日本フードサービス(株)	代表取締役	大場 香		
11	〃	(株) コア・プランニング設計事務所	代表取締役	佐々木堅一		共有、組織・企画
12	〃(新)	(株) SOUSHINホールディングス	専務取締役	妹尾 聡		
13	〃	(株) パフュームエステート	代表取締役	高田 浩		
14	〃	平岸ハイヤー(株)	代表取締役社長	神代 晃嗣		政策
15	〃	北斗徽章(株)	代表取締役社長	奈良 伸一		
16	〃	(株) ミライズ	代表取締役	三寺 健吾		
17	〃	ワコー北成メタル(株)	部長	川田 洋志典		組織・企画、 共同求人、共有

千歳・恵庭・ 北広島・長沼地区会

■千歳市・恵庭市・北広島市・長沼町

■会員数：102名（2026年3月末）

2025年度 活動のまとめ

①企業づくり

- ・地区会員が様々な苦難を乗り越えて強靱な会社に成長させた経営実践を報告する例会を開催し、レジリエンスな企業づくりについて学びました。
- ・災害時に企業活動を早急に復旧するためのBCPを策定し、被災する地域住民の安全に貢献する企業の実践報告から、会社として非常時に社員を守る責任や防災について学びました。

②同友会づくり

- ・他地区会との合同交流例会を開催し親睦を深めました。
- ・北広島市に新たに出来た商業施設「トナリエ北広島」や、北海道農業専門学校など、地区会員の関心が高い視察例会を開催しました。
- ・2025年度は11回の月例会に延べ209名が参加しました。

③地域づくり

- ・千歳市、北広島市、恵庭市から地域づくりに関わる経営者や行政職員の方、地域経済の研究者によるパネルディスカッションを開催しました。その中で中小企業振興に関する条例や、地域づくりについて改めて考えることができました。
- ・人手不足の昨今の中で、外国人の雇用を積極的に行っている会員企業から学ぶ例会を開催しました。

2026年度 活動方針

<スローガン>

例会を地区会活動の中心に位置付け、多くの会員が足を運べる学びの場として企画・開催します

①企業づくり

- ・会員各社が経営のビジョンを描き、経営者や社員が未来へ希望を持てる会社づくりを進めます。
- ・会員同士が切磋琢磨して、経営者と社員の生活を守る強い経営体質の会社を目指します。
- ・地域や若者から選ばれ、働き甲斐や生きがいを感じられる会社を目指します。

②同友会づくり

- ・例会を地区会活動の中心として位置付け、多様な会員が経営の悩みや課題を話し合える機会の提供に努めます。
- ・学び合いの輪が広がる地区会の将来像を描きながら、前例にとらわれずに持続可能な活動スタイルを検討する年度と位置付けます。

③地域づくり

- ・同友会理念に基づいて会員同士や他団体との連携を深め、望ましい経営環境の実現に向け能動的に活動します。
- ・他団体や金融機関、行政とも連携しながら、中小企業振興基本条例の推進ならびに条例の理念に基づいた地域内経済循環を促進する活動へ積極的に参画します。

2026年度 千歳・恵庭・北広島・長沼地区会役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	会長	山田農園	代表	山田 誉	○	総務
2	副会長	(有)内山新聞店	代表取締役	内山 亙理		共育
3		たちばな法律事務所	弁護士	橘 功記		インクルーシブ
4	〃	(株)肉の山本	代表取締役	山本 歳勝		
5	幹事長	(有)北海道新聞南販売所	代表取締役	南 仁	○	組織・企画
6	幹事	AURA kikaku	代表	長尾 利華		
7	〃	(有)齊幸商事	代表取締役	齊藤 富明		
8	〃	(株)島田農園	代表取締役	島田 龍哉		
9	〃	(株)テクノス	代表取締役	宍戸 千郁		
10	〃	(株)北央機工	代表取締役	岡藤 謙昌		
11	〃	北海道純馬油本舗(株)	相談役	磯崎 律子		インクルーシブ
12	〃	(株)北海道ワーク	代表取締役社長	登立 太郎		
13	〃	(株)三木田	代表取締役	三木田 佑介		経営指針
14	〃	(株)みなみ農産	代表取締役	南 貴文		
15	〃	宮崎こうじ社会保険労務士事務所	代表	宮崎 好司		経営厚生労働
16	顧問	鈴木造園(株)	代表取締役	蕪木 清文		
17	〃	(株)北央商事	代表取締役	行澤 勇		
18	〃	リサイクルファクトリー(株)	代表取締役社長	本村 信人		政策

江別地区会

■江別市、南幌町

■会員数: 64名(2026年3月末)

2025年度 活動のまとめ

スローガン

江別の仲間と共に聞こう、語ろう、連携しよう、次回も行くぞ江別地区会！！

聞こう！

会員からは勿論、地域大学の理事長や博物館の顧問など、幅広い分野で活躍する方のお話を聞くことが出来た。また会員の経営実践の報告や最新の人事採用事情など、明日の経営に生きるような内容で学び合うことが出来た。

語ろう！

江別地区の会員に例会で報告していただく他、年間のうち約半分以上の例会ではグループ討論を実施した。例会が参加者同士で知見や経験を共有する場所となり、自社の社員をはじめとした他者とのコミュニケーション力向上の機会となった。

連携しよう！

7月には千歳・恵庭・北広島・長沼地区会との合同例会を開催し、他地区会会員との交流を深めた。またWEえべつ祭りでは江別地区会会員の他、他地区会員や地域大学の学生、未会員にも出展していただき、同友会内外での連携によって一層盛り上げることが出来た。

次回も行くぞ！

ご無沙汰会員数名の参加が複数回あった。グループ討論も盛り上がり、また来たくなる例会が達成できた。

江別の仲間！

江別の歴史に関する事など地域に密着した内容の例会を開催することで、江別市内からのゲスト参加があった。また今年は近年と比較して江別地区会への入会が多く、地域の仲間と同友会江別地区会との繋がりを深めた。

2026年度 活動方針

【スローガン】

共に学び、語り合い、仲間が増える江別地区会

【活動の軸】

私たちは、日々の経営や現場の経験を持ち寄り、例会で共に学び、語り合うことを通じて、参加して良かったと思える地区会をつくりたい。

その積み重ねを、新たな仲間が自然に集まる力へとつなげていきます。

【学ぶ】

会員の経験や経営課題を共有し、互いに学び合います。

地域・学校・行政など江別を取り巻く動きを知り、視野と判断力を広げます。

例会で得た学びを自社に持ち帰り、実践していきます。

【語り合う】

グループ討論を行うことにより、会員一人一人の経験や想いを発表します。

発表や意見交換を通じて、経営者として必要な伝える力と聴く力を。

例会を、自社と自分を見つめ直す場とし、次の一歩につなげます。

【つながる】

例会や交流を通じて、会員同士の関係を深めます。

他地区や委員会、外部団体と連携し、新たな学びと刺激を得ます。

会員企業同士が協力し、地域とともに発展する江別地区会を目指します。

【仲間が増える地区会へ】

参加して良かったと思える例会づくりを大切にします。

学びと交流の積み重ねが、新たな仲間を呼び込む地区会を目指します。

江別の企業約1300社すべてが仲間であるという意識で活動します。

2026年度も、江別で共に学び、語り合い、つながり続ける地区会へ。

2026年度 江別地区会役員

No.	地区会役職	会社名	役職	氏名	支部幹事	委員会
1	会長	(有) 機弘社	代表取締役	前田 昭二	○	総務、組織・企画
2	副会長	合同会社シリカマテリアル	代表社員	高田 哲也	○	
3	// (新)	(株) パル・コーポレーション	代表取締役社長	齋藤 和夫		共同求人
4	幹事	(有) イングプラザ	代表取締役	高橋 俊夫		
5	//	SOCブルーイング (株)	代表取締役社長	坂口 典正		
6	//	(株) ナラ工業	代表取締役	奈良 幸則		
7	//	(有) 中野工業	代表取締役	中野 壮士		
10	幹事 (新)	農業生産法人輝楽里	常務取締役	藤城 正興		
8	//	Good Energy Agent 本間オフィス	代表	本間 優太朗		
9	//	合同会社K・E・Y	代表社員	佐々木 一典		
11	//	ヒルトップコンサルティング (株)	代表社員	早坂 徳敏		

共育委員会

2025年度 活動のまとめ

経営者の「夢想力」「質問力」「発信力」「活用力」を高めるとともに、経営者と社員が共に育ち、社員が自主性や能力を十分に発揮できる会社づくりの実践を目指して、下記の具体的方針に沿って活動しました。

1. 「経営者の在り方」
 - ①9月に中央東地区会と例会を共催し、採用と社員育成に関する経営実践からますます深刻になる人手不足を主体的に乗り越える手がかりを学びました。
 - ②自分の右腕づくりをキーワードとした新たな社員教育企画「札幌ヒーロアカデミア」を実施し、経営者を含む9社16名の受講生が全6講の学びと課題に取り組み、自らの成長が部下の成長に繋がることや人を育てる喜びを体感しました。
2. 「会社の在り方」
 - ①社員が能力を発揮し強い経営体質を実現するため、中堅幹部社員研修「仕事の腕前のあげ方セミナー」を開催しました。全4回で幹部社員28名が、生産性の向上や仕事の委任をテーマに学びました。
3. 「社内のスキルアップ」

経営者や社員の人間力・コミュニケーション能力を延ばす研修を企画運営しました。

 - ①新入社員向け社外同期プロジェクト「Lacラボ。」を開催し、全10講の課程を9社13名が修了しました。
 - ②富良野GROUPの久保隆徳氏を招き、相手の微細な変化や場の空気をとらえる知覚力や、相手の内側から答えを引き出す問いを立てる力を育てる「育成者のための実践講座」を行いました。経営者と幹部社員33名が演劇的手法を取り入れたワークで体感的に学びました。

2026年度 活動方針

経営者の「夢想力」「質問力」「発信力」「活用力」を高めるとともに、支部専門委員会・地区会との連携も視野に入れ、経営者と社員が共に育ち、社員が自主性や能力を十分に発揮できる会社づくりの実践を進めます。

今年度は企画をブラッシュアップする年度と位置づけ、参加者の裾野を広げます。

1. 「経営者の在り方」

経営者のメンタリングマネジメント、ビジネスビジョンの深化に取り組む。
2. 「会社の在り方」

離職のない会社づくりとビジネスデザイン研究を行う。
3. 「仕事の在り方」

経営者と社員の人間力・コミュニケーション能力を伸ばす。

2026年度 共育委員会体制

No.	委員会内役職	企業名	役職	氏名	地区会
1	委員長	シオンテクノス(株)	代表取締役社長	村野 篤	東
2	副委員長	(株)ヒューマンイノベーションラボ	代表取締役	岡崎 哲也	中央東
3	〃	ベンチャーパートナーズ社会保険労務士法人	代表社員	山本 祐一郎	中央西
4	〃	(株)トータル保険事務所	専務取締役	中田 貴司	白石・厚別
5	〃	(株)リ्यूツー	取締役副社長	川原 晋仁	白石・厚別
6	〃	(株)コア・プランニング設計事務所	代表取締役	佐々木 堅一	豊平・清田
7	〃(新)	(株)いろどる	代表取締役	小澤 絢	白石・厚別
8	委員	(株)ファインドリームス	専務取締役	軽部 昌明	中央東
9	〃	(株)アメージングアंक	代表取締役	小原 木聖	中央西
10	〃	(株)石田歯科商会	代表取締役社長	石田 誠	中央西
11	〃	(株)KNこーぼれーしょん	代表取締役	金城 錦花	中央西
12	〃	(株)ソフィア	代表取締役	河内 博	中央西
13	〃	(株)Mammy Pro	代表取締役	阿部 夕子	中央西
14	〃	(株)ARC	代表取締役	蒲生 恵介	中央南
15	〃	北明システム(株)	総務部長	昆 幹夫	中央南
16	〃	(株)パラマウントグロース	代表取締役	榎本 洋	中央北
17	〃(新)	LEAP ARROWS合同会社	代表社員	齋藤 厚作	中央北
18	〃	大平洋建業(株)	代表取締役社長	佐藤 誠	東
19	〃	(株)豊水設計	専務取締役	岡部 学	東
20	〃	シオジリプラス(株)	代表取締役	塩尻 一也	西・手稲
21	〃	合同会社月読宗像	代表社員	宗像 晃裕	西・手稲
22	〃	(株)札幌奎幸舎	代表取締役	渡邊 陽一	北
23	〃	TM研究所	代表	船木 幸弘	北
24	〃	丸福塗料(株)	代表取締役社長	福尾 実	北
25	〃	大瀧国際行政書士事務所	代表	大瀧 和範	豊平・清田
26	〃(新)	ワコー北成メタル(株)	部長	川田 洋志典	豊平・清田
27	〃	(有)内山新聞店	代表取締役	内山 亘理	千歳・恵庭・北広島・長沼

共同求人委員会

2025年度 活動のまとめ

- 1.“共同求人活動の普及”について、7/17中央東地区会、10/30中央西地区会が採用活動をテーマとした例会を開催、共同求人委員も参加し共同求人活動の理念を伝える機会となりました。
- 2.“学校との連携”については、新しい取り組みとして北海道科学大学建築学科ビジネススキル授業で就活対策講座を計6回実施16社が協力しました。室蘭工業大学では一般教養北海道産業入門で4社が講話しました。また北海道科学大機械工学科では先端機械技術論に協力した10社と担当教員が打ち合わせを重ね、学生目線の体験と学びを兼ねたパッケージ企業見学会を6日間実現できたことは今後につながる成果と言えます。以上のほかに11/17酪農学園大学学内イベントを6社で開催、1/20札幌国際大学キャリア形成論への講師派遣が今年度の新たな取り組みとなりました。職業能力開発大学校では就活対策講座を3学科6回にわたって開催、北星学園大学14講、北海道情報大学4講、札幌学院大学30講の授業協力を継続いたしました。
- 3.選ばれる企業になるための学習会は、2/2法政大学 教授 児美川孝一郎氏に「今どきの若者の就職意識-企業の対応と役割」をテーマに報告いただき81名が参加、グループ討論で深め合いました。採用ノウハウ学習会は、エージェントの活用事例、外国人・留学生採用、SNSの活用事例、インターンシップ、中途採用の実情、働きやすい職場環境改善など実際に即したテーマで開催、経営者と当事者が一緒に学びました。
4. 6/17-18中同協主催「共同求人・社員教育活動全国交流会」を札幌で開催、39 同友会・中同協から 360 名が参加(うち北海道同友会より 147 名が参加)事例発表や分科会でのグループ討論などを通じ、北海道同友会会員自身も他県の先進事例から学びを得、自社の取り組みを客観的に見る機会となりました。

2026年度 活動方針

北海道同友会2030ビジョン『地域に役立つ企業を目指し、「共創」で自社の存在意義を高めよう！』を踏まえ委員会活動を下記のように行います。

- 1, 引き続き学校別に関係を振興し、時代に即した会社づくりの情報収集を行うと同時に、中小企業の認知向上に努める。
- 2, 新卒採用したいけど踏み出せない、又は上手いかない会員企業に対し、共同求人活動の普及を行う。
- 3, 対外活動(キャリア教育支援や先生・学生との接点)と会員企業の学び合い活動(良い会社作りや採用ノウハウ)の相互作用により、人を生かす経営の実践を促進する。

上記方針にもとづき、昨今の採用情勢を見据え下記の活動に力点を置きます。

- 1)連携する学校を絞り込み、内容を強化する ⇒ 先生方と目的を共有し「同友会共同チーム」などで工夫した授業、職業体験機会、協同インターンシップなどに発展させる。
- 2)採用ノウハウ学習会の充実 ⇒ 会員企業の関心としては採用が喫緊の課題として押し迫ってきているので、様々な切り口からのノウハウ学習を充実させる。

2026年度 共同求人委員会体制

No.	委員会内役職	企業名	役職	氏名	地区会
1	委員長(新)	藤建設工業(株)	代表取締役	工藤 喜作	中央西
2	副委員長	(株)フジ	代表取締役	青木 崇一	北
3	〃	(株)恒栄工業	代表取締役	上原 伸也	中央西
4	〃(新)	(株)井上技研	取締役副社長	犬嶋 ユカリ	東
5	〃(新)	(株)パル・コーポレーション	代表取締役社長	齋藤 和夫	江別
6	〃(新)	(株)ティーピーパック	取締役	上村 貴宏	北
7	委員	石塚建設興業(株)	常務取締役	宮内 浩之	中央東
8	〃	(株)道新アクセス	地域ビジネス開発部 部長	齊藤 拓男	中央東
9	〃	(株)内池建設	常務取締役	森下 豪悠	中央西
10	〃	(株)北海道建設新聞社	専務取締役編集局長	丹尾 達也	中央西
11	〃(新)	(株)シーキューブソフト	取締役	小倉 竜治	中央西
12	〃	(株)エッセンシャル	代表取締役	泉山 翼査	中央南
13	〃	(株)ヤブシタ	常務取締役	山下 英丈	中央南
14	〃	(株)志桜	代表取締役	木川 真喜子	中央南
15	〃	(株)PROBIT	代表取締役	坂田 陽一	中央北
16	〃	(株)やまもく	代表取締役	山口 雄大	中央北
17	〃	北海道共伸特機(株)	採用戦略室 室長	佐々木 駿	東
18	〃(新)	(株)丸竹 竹田組	取締役経営管理室長	竹田 光宏	東
19	〃	(株)レイジックス	代表取締役	敬禮 匡	西・手稲
20	〃	(株)トータルデザインサービス	代表取締役	西田 高穂	北
21	〃	札幌ベック(株)	会長	前田 卓哉	北
22	〃	(株)リペアサービス	代表取締役社長	岩泉 賢治	北
23	〃	札幌制御システム(株)	代表取締役	生田 哲史	北
24	〃	社労士事務所マリン・ブルー	代表	藤原 しのぶ	白石・厚別
25	〃	(株)アセットプランニング	経理・総務部部長	戎 教江	白石・厚別
26	〃	(株)出口塗工店	代表取締役	出口 則夫	白石・厚別
27	〃	共栄エンジニアリング(株)	常務取締役	鷹木 学	白石・厚別
28	〃	ワコー北成メタル(株)	部長	川田 洋志典	豊平・清田
29	〃(新)	(株)エムジー・コーポレーション	取締役	後藤 睦子	豊平・清田

経営指針委員会

2025年度 活動のまとめ

経営指針委員会の目的と役割

「労使見解」の精神を生かした経営指針の成文化と実践は、経営者の責務であり、「三つの目的」や「21世紀型中小企業づくり」をめざす具体的実践課題と位置付けられています。当委員会は、すべての会員企業が経営指針の成文化と実践に取り組む運動を推進します。

1. 「労使見解」の精神に基づく経営指針の成文化と実践運動が、支部・地区会で活性化するよう活動します。

(1) 成文化に取り組む会員企業を支援するため「経営指針研究会」を運営します。

→第22期経営指針研究会を開催し、22名の受講生が経営指針(経営理念・10年ビジョン・経営方針・経営計画(単年度・中長期))の成文化を修了し、修了生は延べ374名となりました。

(2) 経営指針実践報告会の開催を各地区会・部会と連携して行い、実践経験の交流と経営指針の成文化と実践の意義の共有を図ります。

→2月3日の札幌支部例会を経営指針実践セミナーと位置付けて開催。札幌支部副支部長である(株)工藤商事 代表取締役 工藤英人氏の経営指針の実践報告から学びました。また、2月20日に第22期経営指針研究会&第7期・第8期実践ゼミ合同報告会を70名の参加で開催。研究生からは1年に及ぶ研究会の気づきや学び、今後の展望が報告され、実践ゼミ生からは経営指針の実践をより深く落とし込んだことが報告されました。さらに10月には大阪同友会会員企業3社の視察企画を実施、現場から実践を学びました。

(3) 『経営指針成文化と実践の手引き』を普及します。

→5月15日に中同協経営労働委員会委員長である(株)山田製作所 代表取締役 山田茂氏をお呼びし、支部会員を対象とした学習会を実施しました。

(4) 『企業変革プログラムVer.2』『働く環境づくりの手引き』の学びを深め、普及します。

→『働く環境づくりの手引き』については、委員で構成された模擬ゼミを開催しました。

(5) 経営指針の実践に取り組む会員企業に向けて「経営指針実践ゼミ」を運営します。

→今年度は第7期および第8期経営指針実践ゼミを開講しました。現在計11名が受講し、修了しました。

(6) 各地区会・部会と連携し、書籍『人を生かす経営』を活用しながら「人を生かす経営」と経営指針の普及を実現させる取り組みを行います。

→今年度は地区会例会や支部例会等で経営指針をテーマにした例会が開催され、「人を生かす経営」と経営指針の普及に繋がりました。経営指針入門編については中央東地区会及び中央南地区会とのコラボ例会にて、経営指針の必要性をテーマにワーク形式で開催しました。また農業経営部会主催の農場指針研究会と連携し、『経営指針成文化と実践の手引き』普及に取り組みました。

2. 全道経営指針委員会と連携し、経営指針成文化と実践運動の実態調査を行い、課題の共有を図ります。→「経営指針成文化アンケート」を実施し、181件の回答がありました。また11月20日に全道経営指針研修会にて働く環境づくりの実践を全道に共有しました。

3. 他の専門委員会と連携し、経営指針をもとにした「人を生かす経営の総合実践」を具体的に進めます。

→委員長会議等で他の専門委員会と情報共有をしました。「人を生かす経営の総合実践」については次年度以降連携して進めて参ります。

4. 道央ブロック活動を推進し、実践事例の共有を図ります。

→全道委員会にてあり方を模索したものの、今年度は具体的な活動は行われませんでした。

2026年度 活動方針案

経営指針委員会の目的と役割

「労使見解」の精神を生かした経営指針の成文化と実践は、経営者の責務であり、「三つの目的」や「21世紀型中小企業づくり」をめざす具体的実践課題と位置付けられています。当委員会は、すべての会員企業が経営指針の成文化と実践に取り組む運動を推進します

1. 「労使見解」の精神に基づく経営指針の成文化と実践運動が、支部・地区会で活性化するよう活動します。

(1) 成文化に取り組む会員企業を支援するため「経営指針研究会」を運営します。

(2) 経営指針実践報告会の開催を各地区会・部会と連携して行い、実践経験の交流と経営指針の成文化と実践の意義の共有を図ります。

(3) 『経営指針成文化と実践の手引き』『人を生かす経営』を普及します。

(4) 『企業変革プログラムVer.2』『働く環境づくりの手引き』の学びを深め、普及します。

(5) 経営指針の実践に取り組む会員企業に向けて「経営指針実践ゼミ」を運営します。

(6) 各地区会・部会と連携し、「人を生かす経営」と経営指針の普及を推進します。

2. 全道経営指針委員会と連携し、経営指針成文化と実践運動の実態調査を行い、課題の共有を図ります。

3. 他の専門委員会と連携し、経営指針をもとにした「人を生かす経営の総合実践」を具体的に進めます。

2026年度 経営指針委員会体制案

	委員会内役職	企業名	役職	氏名	地区会
1	委員長	(株)りんゆう観光	代表取締役社長	植田 拓史	東
2	副委員長	(株)ズック	代表取締役	亀山 圭一	中央西
3	〃	(有)トライアド	代表取締役	三原 広聡	中央西
4	〃	(株)雪研スノーイーターズ	代表取締役	大槻 政哉	中央西
5	〃	(株)ライトン	代表取締役	竹内 康	中央西
6	〃	(株)たいわや	代表取締役	中村 文昭	東
7	〃	(株)フジソー	代表取締役	樋口 直樹	東
8	〃	合同会社プロジェクトノウワット	代表社員	渡辺 裕介	西・手稲
9	〃 (新)	(株)ワコーバイオケミカル	代表取締役	佐々木 和秀	北
10	〃	(株)シンクシステムズ	会長	小椋 俊秀	白石・厚別
11	委員	(株)GIFカンパニー	代表取締役	福田 広	中央東
12	〃	チエモク(株)	代表取締役	三島 千枝	中央東
13	〃	Ally Japan(株)	代表取締役	池田 市子	中央西
14	〃	(株)補償セミナー	技術部 部長	畑中 朝晴	中央西
15	〃 (新)	(株)安全モーター商会	代表取締役社長	伊藤 太郎	中央南
16	〃 (新)	(株)えぞりすツアープランニング	代表取締役	細川 恵子	中央南
17	〃	亀田成春法律事務所	弁護士	亀田 成春	中央南
18	〃	(株)四季の旅	代表取締役	鄭 眞旭	中央南
19	〃	税理士法人すずらん総合マネジメント	代表社員	山谷 謙太	中央南
20	〃	(有)ソフトウェア・コンサルタンツ	代表取締役	平山 哲也	中央南
21	〃	菊地税理士事務所	代表	菊地 正人	中央北
22	〃	(有)ツーエイクルミ薬局	代表取締役	赤崎 幸三	中央北
23	〃	(株)ケルプ研究所	代表取締役	福士 宗光	東
24	〃	大建産業(株)	代表取締役	門脇 勝洋	東
25	〃	マルサン塗料(株)	代表取締役社長	立花 秀樹	東
26	〃	石田製本(株)	代表取締役	石田 雅巳	西・手稲
27	〃	(株)遠藤木型	代表取締役	遠藤 俊一郎	北
28	〃	(株)札幌李幸舎	代表取締役	渡邊 陽一	北
29	〃	(株)ビニ・ボナー	代表取締役	平澤 恵	北
30	〃	合同会社あすな	代表	佐藤 綾乃	白石・厚別
31	〃 (新)	NPO法人オペア	理事長	堅田 裕一	白石・厚別
32	〃	(株)工藤商事	代表取締役	工藤 英人	白石・厚別
33	〃	(株)Grit	代表取締役	奈良 学	白石・厚別
34	〃	(株)札幌管機	代表取締役社長	釣 知里	白石・厚別
35	〃	社労士事務所マリン・ブルー	代表	藤原 しのぶ	白石・厚別
36	〃	(株)セイワ商会	代表取締役社長	中静 一棋	白石・厚別
37	〃	時計台バス(株)	常務取締役	南部 武人	白石・厚別
38	〃	北海道電子機器(株)	代表取締役社長	穴田 秀樹	白石・厚別
39	〃	(株)あしだファーム	代表取締役	蘆田 裕介	千歳・恵庭・北広島・長沼
40	〃	(株)砂田興産	代表取締役	砂田 健児	千歳・恵庭・北広島・長沼
41	〃	(株)三木田	代表取締役	三木田 佑介	千歳・恵庭・北広島・長沼

経営厚生労働委員会

2025年度 活動のまとめ

1、会員企業の学びのきっかけをつくる

会員企業の経営・厚生・労働のそれぞれの課題解決に必要な知識と情報を、各地区会、各委員会、全道委員会と連携しつつ、セミナーや公開学習会などを通じて発信していく。また、委員会所属の各委員が持つ知識・経験を自主勉強会などを通じて共有し、「総合知」を形成する。

→委員会後の公開学習会を10回(2025年4～12月、2025年3月)、連続勉強会(財務勉強会(2025年5月～2026年2月)計10回)、(メンタルヘルスケア(2025年8月～11月、2026年2月～3月)計6回)を開催し発信した。26年2月は他地区会と連携し、支部会員向けにコラボ例会を開催した。

2、経営課題への取り組み

中小企業が営む事業の付加価値を高め、生産性を向上させることで、より住みよい社会の実現を目指す。中小企業が培ってきた知識・経験・ノウハウを次世代に継承させ、発展させるための取り組みを行う。

→2025年4月25日(金)委員会内で、2026年2月13日(金)無二の会及び後継者ゼミナール起望峰との合同で事業承継セミナーを開催した。

3、厚生課題への取り組み

健康経営やメンタルヘルスなどの課題解決に取り組み、中小企業の経営者やそのパートナーである従業員が働きやすい職場環境作りを行う。

→健康、メンタルヘルスケアに関して公開学習会1回、セミナー2回を開催した。

4、労働課題への取り組み

労働関係法令の知識や各人の経営経験を集結させて人を生かす就業規則を整備し、経営者と従業員がともに働きがいのある企業経営の実現を目指す。

→委員会内で就業規則や労災、BCPに関する学習会やセミナーを開催した。

2026年度 活動方針

1、会員企業の学びのきっかけをつくる

会員企業の経営・厚生・労働のそれぞれの課題解決に必要な知識と情報を、各地区会、各委員会、全道委員会と連携しつつ、セミナーや公開学習会などを通じて発信していく。また、委員会所属の各委員が持つ知識・経験を自主勉強会などを通じて共有し、「総合知」を形成する。

2、経営課題への取り組み

中小企業が営む事業の付加価値を高め、生産性を向上させることで、より住みよい社会の実現を目指す。中小企業が培ってきた知識・経験・ノウハウを次世代に継承させ、発展させるための取り組みを行う。

3、厚生課題への取り組み

健康経営やメンタルヘルスなどの課題解決に取り組み、中小企業の経営者やそのパートナーである従業員が働きやすい職場環境作りを行う。

4、労働課題への取り組み

労働関係法令の知識や各人の経営経験を集結させて人を生かす就業規則を整備し、経営者と従業員がともに働きがいのある企業経営の実現を目指す。

2026年度 経営厚生労働委員会委員会体制

No.	委員会内役職	企業名	役職	氏名	地区会
1	委員長	弁護士法人札幌英和法律事務所	副所長社員弁護士	田中 康道	中央西
2	副委員長	社会保険労務士事務所テラス	代表	倉 雅彦	東
3	〃	遠藤起予子社会保険労務士事務所	所長	遠藤 起予子	東
4	〃	神童商事(株)	課長	久保 智	東
5	〃	(株)A.I.P	支店長	藤田 学	北
6	〃	一般社団法人FP看護師パートナー協会	代表理事	高梨子 あやの	北
7	〃	(株)Pay it Forward	代表取締役	佐藤 文昭	白石・厚別
8	〃(新)	ココロとカラダの保健室	代表	濱岡 夕子	白石・厚別
9	〃(新)	(株)コンプラ・マネジメント	代表取締役	越田 雅人	中央北
10	委員	(株)進幸	代表取締役	渡邊 典子	中央東
11	〃	石山通り司法書士法人	役員司法書士	前岡 政勝	中央西
12	〃	(株)レストレイション	代表取締役	目黒 久美子	中央西
13	〃	前田誠公認会計士事務所	代表	前田 誠	中央西
14	〃	弁護士法人PLAZA総合法律事務所	行政書士	関上 健一郎	中央南
15	〃	のぞみ・ひかり法律事務所	弁護士	古山 忠	中央南
16	〃	ハヤシ電興(株)	代表取締役社長	林 隆志	中央南
17	〃	北明システム(株)	総務部長	昆 幹夫	中央南
18	〃	啓明法律事務所	弁護士	薄木 宏一	中央南
19	〃	(株)デンシヨク	専務取締役	大沼 洋之	中央北
20	〃(新)	BLUESHEEP(株)	代表取締役	杉本 英範	中央北
21	〃	弁護士法人PLAZA総合法律事務所	弁護士	山田 敬純	中央北
22	〃	リーディング社会保険労務士法人	代表社員	湊 秀樹	中央北
23	〃	マルサン塗料(株)	代表取締役社長	立花 秀樹	東
24	〃(新)	ルミネイト	代表	三浦 隆	東
25	〃	(株)保険のベストケア	代表取締役	矢島 嘉信	西・手稲
26	〃	吉成智司法書士事務所	司法書士	吉成 智	西・手稲
27	〃	司法書士すみかわ事務所	司法書士	鈴木 郁子	南
28	〃	シオンテクノス(株)	取締役副社長	村野 充	北
29	〃	陶氏診療院	院長	陶 恵栄	北
30	〃	太陽運輸(株)	代表取締役	太田 豊子	白石・厚別
31	〃	(株)なかしん	代表取締役	高橋 正憲	白石・厚別
32	〃	(株)大橋冷機	代表取締役	塚本 教博	豊平・清田
33	〃	宮崎こうじ社会保険労務士事務所	代表	宮崎 好司	千歳・恵庭・北広島・長沼

インクルーシブ委員会

2025年度 活動のまとめ

前年度に引き続き2チーム制で活動を行い、それぞれのチームの活動目標を達成するための取り組みを行いました。また19回目を数える札幌市委託事業「障がい者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム」の開催。当日は会内外から114名の方を動員し、共生社会の形成に向け盛会にて終了致しました。

①障がい者雇用チーム

2025年度、障がい者雇用チームは「資源マップの運用・拡充」と「障がい者雇用を学ぶ機会の創出及び関係構築」を軸として活動を展開しました。

「資源マップ」とはつながるマップの事で、会員企業と障がい者支援事業所との関係構築及び相互理解に資する為に作成されたものであり、会合等の案内やSNSなどに活用して周知しました。

「障がい者雇用を学ぶ機会」においては11月13日に白樺高等養護学校の見学会を実施し、生徒の学習環境や実習の様子、学校における支援の取組について理解を深め、2月5日には同友会会員と北海道障がい者就労支援センターとの合同研修を開催し、会員へのアンケート調査の協力をきっかけとした取組を発展させ、同友会会員及び就労支援事業所職員が、それぞれの立場から実践報告を行った後、ディスカッションを通じて意見交換を行う貴重な学びの時間を得ることができました。現場における実践や課題、支援の工夫について相互理解を深める場となりました。

②社会的養護チーム

・児童養護施設を訪問する活動を積極的に行いました。(5/24ラーメン交流会、6/28職業紹介交流会、9/20園内祭訪問、10/28焼肉交流会、11/26職員さんとの意見交換会、12/20クリスマス会、2/11養護施設出身の青年による講話、2/14卒園生との食事会)これらの活動により子ども達との距離が更に縮まり、職員さんと意見交換する事で活動の提案や課題点を共有し活動の充実を図る事が出来ました。

・10/23白石・厚別地区との合同例会を開催しました。

・養護施設活動において北海道新聞からの取材や記事の掲載、同友会地区会との合同例会等により同友会内外にも啓蒙活動が広まりました。

③「障がい者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム」の開催

今年で19回目を迎えたフォーラム、昨年同様に会場とZoomを併用したハイブリッドにて開催し、114名が参加しました。障がい者雇用を実施している島根同友会会員のモルツウェル(株)専務取締役 野津 昭子 氏を報告者に招き、新たな気付きと学びを知り、会場からの活発な質問等も非常に参考になり、盛会にて終了致しました。

また、フォーラム終了後には参加した会員企業を訪問し、障がい者雇用に関する疑問や課題が解消されるよう継続的な関係づくりに向けた取組を開始しました。

2026年度 活動方針

①共生社会の形成に向けて、「共に働き共に育ち合う企業づくり」を促進します。

②各団体や支援機関との連携を強化し、雇用に結びつける活動に取り組みます。

〈活動計画〉

〈障がい者雇用チーム〉

・「つながるマップ」の簡略化を図るとともに必要に応じて更新し、掲載内容の実用性及び情報共有ツールとしての効果的な運用方法について検討を行う。

・障がい者雇用に関して、会員企業が持つニーズや高等支援学校等が知る障がい者のスキルや魅力を相互に情報交換できるような場を提供し、会員企業・教員・関係機関が継続的に対話・交流できる機会を意図的に設け、単発的な接点に終わらせない関係構築の仕組みづくりを推進する。

〈社会的養護チーム〉

・児童養護施設を訪問し、子ども達や職員さんとの交流を深める事で、小中高生含め交流人数を増やす事を目指しながら関係性も更に深め、卒園生との交流にも充実を図っていく。

・子ども達向けの職業紹介、体験、企業見学を実施していく上で、同友会会員企業の方々に要請をはかり、また合同例会等を通して活動主旨や意義を広めチームメンバーを増やしていく。

〈障がい者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム〉

・札幌市主催の「障がい者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム」を企画・運営する。

・フォーラム終了後には参加した会員企業を訪問し、継続的な関係性を強化していく。

2026年度 インクルーシブ委員会体制

No.	委員会内役職	企業名	役職	氏名	地区会	所属チーム
1	委員長	(株)ライズエンジニアリング	取締役	柳川 久美子	中央西	両方
2	副委員長	札幌緑地開発(株)	代表取締役	大笹 進	中央西	社会的養護
3	〃	社会保険労務士事務所テラス	代表	倉 雅彦	東	社会的養護
4	〃	(株)ユーファースト	代表取締役	吉岡 俊史	西・手稲	障がい者雇用
5	〃	たちばな法律事務所	弁護士	橘 功記	千歳・恵庭・北広島・長沼	障がい者雇用
6	〃	北海道純馬油本舗(株)	相談役	磯崎 律子	千歳・恵庭・北広島・長沼	社会的養護
7	〃	社会福祉法人北ひろしま福祉会	常務理事	高橋 信重	千歳・恵庭・北広島・長沼	障がい者雇用
8	〃	(株)若山建設	代表取締役	若山 英史	白石・厚別	社会的養護
9	副委員長(新)	一般社団法人あしたパートナーズ	北海道支部 支部長	吉田 幸喜	白石・厚別	障がい者雇用
10	委員	今夜ひろみで	代表	北島 ひろみ	中央西	社会的養護
11	〃	(株)CHACHACO	代表取締役	朝倉 渉	中央西	障がい者雇用
12	〃	NPO法人障がい者就労支援の会	あかり家 施設長	妻倉 ゆかり	中央南	障がい者雇用
13	〃	JTSひまわり	代表取締役	波田野 孝明	中央南	社会的養護
14	〃	(株)ネクストリソース	代表取締役	大泉 浩一	中央南	障がい者雇用
15	〃	(株)こうわ	代表取締役	大澤 寿樹	中央北	障がい者雇用
16	〃	(株)プロネス	専務取締役	冬月 さやか	中央北	社会的養護
17	〃	社会福祉法人さっぽろひかり福祉会	常務理事	小畑 友希	東	障がい者雇用
18	〃	(有)ケアアシスト	代表取締役	谷口 紀代美	西・手稲	社会的養護
19	〃	NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ	理事長	佐々木 泰彦	西・手稲	障がい者雇用
20	〃	NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ	専務理事	田中 伸和	西・手稲	障がい者雇用
21	〃	(株)ライフマップ	専務取締役	大西 忍	西・手稲	社会的養護
22	〃	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道支部 北海道障害者職業センター	所長	藤本 智子	北	障がい者雇用
23	〃	公益財団法人北海道精神保健推進協会こりか・プロダクション	管理者	服部 篤隆	白石・厚別	障がい者雇用
24	〃	(株)有田不動産	代表取締役	有田 京史	白石・厚別	社会的養護
25	〃	(株)第一葬祭	代表取締役社長	栗原 眞由美	白石・厚別	障がい者雇用
26	〃	一般社団法人札幌福祉就労支援センター	代表理事	佐藤 昇	白石・厚別	障がい者雇用
27	〃	合同会社あすな	代表	佐藤 綾乃	白石・厚別	障がい者雇用
28	〃	(株)ソレイユネットシステム	代表取締役	前田 祐美	白石・厚別	障がい者雇用
29	〃	NPO法人地域生活きたのセンターばお	代表	荒野 耕司	豊平・清田	障がい者雇用
30	〃	藤建工業(株)	代表取締役	藤川 誠二	豊平・清田	両方
31	〃	(株)リペアサービス	代表取締役会長	富田 訓司	豊平・清田	障がい者雇用
32	〃	(株)あるき・めだす	代表取締役	櫛引 隆裕	豊平・清田	社会的養護
33	〃	(株)LUI	代表取締役	横山 竜司	豊平・清田	障がい者雇用
34	〃	NPO法人アシストセンターちえりす	代表理事	清水 道代	千歳・恵庭・北広島・長沼	障がい者雇用
35	委員(新)	札幌総合法律事務所	弁護士	福田 直之	中央西	社会的養護
36	〃	(有)鉄筋工房	専務取締役	山谷 健斗	東	未定
37	〃	介護タクシーのぶちゃん	代表	大西 信幸	白石・厚別	未定
38	〃	北日本重機(株)	代表取締役社長	丸山 雄司	白石・厚別	未定
39	〃	(株)ほくでんアソシエ	代表取締役社長	見澤 克広	白石・厚別	障がい者雇用

政策委員会

2025年度 活動のまとめ

【テーマ】よい経営環境を作るための活動をさらに進めよう

1. 札幌市産業振興ビジョンを改めて理解し、自社の経営に役立てよう。

○札幌市産業振興ビジョンは、今後10年間の札幌市の施策をまとめたものです。ビジョンの内容を改めて委員会内で共有し、会員企業に発信していきます。

○中小企業憲章を更に理解し、中小企業振興基本条例の普及啓発に務めます。

前年度の政策要望を経て、札幌市が既に実施している人材不足に関わる施策を学ぶ説明会を7月に実施。26名が参加し、外国人雇用や補助金などの知識を習得しました。

中小企業憲章に関しては、委員会内において、大石委員から憲章制定までの経緯や同友会の取組などの話を聞き学びました。

2. 地域経済の情報収集を通じ、会員企業の経営に役立つ発信をしていく。

○札幌版景況調査を年4回実施。回答数を増やし、より実際の経営に役立つ意義のあるアンケート調査を目指します。さらに、アンケート結果は自治体への要望にも反映させます。

12月から全道の政策委員会で全会員向けの景況調査を実施することになり、重複の調査は不要との見解により札幌の景況調査は6月の9月の2回実施して終了いたしました。

3. 自治体との連携を深め、政策要望の実現を目指していく。

○札幌市経済局との懇談会を今年度も継続して実施し、連携を深めていきます。

○より良い経営環境を目指し、会員企業の要望をまとめ自治体への提案を継続していく。

11月に札幌市経済局との懇談会を実施し、33名が参加しました。今回も4つのテーマで討論を行い、より理解を深め、経営の実践に活用できる学びの機会となりました。

人材不足が深刻な状況が続く中で、札幌市が抱えている雇用に関する課題解決に向け、札幌市と連携して「おしごとマルシェ」を開催。会員企業3社がブース出展し雇用に繋がっています。また、3月には札幌市が運営している「ここシェルジュSAPPORO」において、デザインに関する実践講座を実施し、委員会として企画運営に携わりました。

札幌市との関わりを深め、私たちの要望を伝えていける関係性を維持発展して行くことで、「いい経営環境を作る」という委員会の目的に沿った取組ができました。

10月には千歳・恵庭・北広島・長沼地区会との合同例会を実施。千歳市商業労働課の方や北海学園大学の犬貝教授をお招きし、地域の中小企業振興をどのように進められるかや行政連携などのお話をいただき学び合いました。

2026年度 活動方針

【テーマ】よい経営環境を作るための活動をさらに進めよう

1. 札幌市産業振興ビジョンを改めて理解し、自社の経営に役立てよう。

○札幌市産業振興ビジョンは、今後10年間の札幌市の施策をまとめたものです。ビジョンの内容を改めて委員会内で共有し、会員企業に発信していきます。

○中小企業憲章を更に理解し、中小企業振興基本条例の普及啓発に務めます。

○中小企業魅力発信セミナーに参加することで、中小企業振興基本条例の理解を深めます。

2. 自治体との連携を深め、政策要望の実現を目指していく。

○札幌市経済局との懇談会を今年度も継続して実施し、連携を深めていきます。

○自治体との連携をさらに深め、要望実現に繋げていきます。

○札幌市経済局と委員会との懇談を通じ、政策提言に繋げていきます。

○前年度に開催した「おしごとマルシェ」を今年度は拡大して開催し、札幌市と会員企業双方の課題解決に取組みます。

○政策提言のためのアンケートを実施。また、全道版DORの回答結果も分析しながら会員企業の要望をまとめ自治体への提案に繋げていきます。

3. 他地区会または他委員会とコラボした取組みを実施

○委員会への理解を深めていただくため、他の地区会や委員会との合同例会を開催します。

2026年度 政策委員会体制

No.	委員会役職	企業名	役職	氏名	地区会
1	委員長	(有) 谷越印刷	代表取締役	谷越 律夫	東
2	副委員長	(株) ekbサービス	代表取締役	高室 典子	西・手稲
3	〃	(株) ユニティ	代表取締役専務	井口 信幸	西・手稲
4	〃	レディマーク	代表	福澤 由佳	東
5	〃	(株) インフォマテリア	代表取締役	石川 辰義	豊平・清田
6	委員	スタークリエイツ (株)	代表取締役社長	梅沢 太一	中央北
7	〃	太陽旅行 (株)	代表取締役	高橋 博音	中央北
8	〃	(株) アミキャリエ	代表取締役	高橋 慶子	中央北
9	〃	(株) 落合建設	代表取締役	落合 靖巳	東
10	〃	(株) 共同舎	代表取締役	大石 清司	東
11	〃	社会福祉法人さっぽろひかり福祉会	常務理事	小畑 友希	東
12	〃	時計台バス (株)	代表取締役社長	木村 高庸	東
13	〃	及川税務会計事務所	代表	及川 恵	東
14	〃	(株) リポートサービス北海道	代表取締役	西田 宙文	西・手稲
15	〃	合同会社ジダイグループ	代表社員	上口 素司	北
16	〃	すがさわ法律事務所	代表弁護士	菅澤 紀生	北
17	〃	平岸ハイヤー (株)	代表取締役社長	神代 晃嗣	豊平・清田
18	〃	リサイクルファクトリー (株)	代表取締役社長	本村 信人	千歳・恵庭・北広島・長沼

組織・企画委員会

2025年度 活動のまとめ

1. 同友会が経営者が抱える経営課題解決につながる「学びの場」であることを発信します。

→新会員向けオリエンテーションを兼ねた「同友会とつながる新会員歓迎会」を4回開催し、新会員ならびに1年以内に会員交代した255名の18.4%に当たる47名が出席。同友会の理念・沿革・組織の紹介と合わせてグループ討論を毎回実施しました。紹介資料は前年度からリニューアルして委員が誰でも紹介できる運営を工夫したほか、グループ討論とその後の懇親会でも活発な意見交換が行われ、部会や委員会への新入会へ繋がるなど、新会員の方の定着・参加促進へ貢献しました。

2. 同友会の活動が会員の「良い交流の場」となり、経営者の「良いつながりの場」になるよう地区会など各組織の活動をサポートします。

→11地区の幹事会から選出された委員が、地区幹事として例会等の地区会活動をサポートしました。

3. 「会員が活動しやすい環境」づくりを目指し、会員の意見を柔軟に活動に取り入れます。

→「新会員歓迎会」参加者へのアンケート実施ならびに、委員が参加する各会合では参加者の声を積極的に聞き取るよう留意しました。

4. 同友会の魅力を深く伝えるため、委員自身が学ぶ機会をつくります。

→委員会と合わせて、「新会員歓迎会」のオリエンテーションを不定期に実施し、同友会の沿革や札幌支部の組織について学びました。

2026年度 活動方針

組織・企画委員一人ひとりが情熱を持って同友会の価値や楽しさを伝えよう！

〔行動指針〕

同友会のコンシェルジュとなり、会員や入会していない経営者へ会の魅力と活用方法を伝えます

1. 同友会が、経営者の抱える経営課題の解決につながる「学び合う場」であることを発信します。
2. 地区会など各組織の活動が、会員の「よい学びの場」「よい交流の場」になるようサポートします。
3. 「会員が参加しやすい環境」づくりを目指し、会員の意見を柔軟に活動に取り入れます。
4. 同友会の魅力を広く深く伝えるため、委員自身が学ぶ機会をつくります。
5. 札幌支部40周年事業の成功へ向け協力します。

2026年度 組織・企画委員会体制

No.	委員会内役職	企業名	役職	氏名	地区会
1	委員長	(株) エクシード	取締役部長	寺山 響	中央東
2	副委員長	熊谷亘泰事務所	所長	熊谷 亘泰	中央南
3	〃	曲堀 幸和産業 (株)	代表取締役社長	堀内 駿	中央北
4	〃	マルゲン観光 (株)	常務取締役	崔 世憲	中央北
5	〃	(有) 牧野商事	代表取締役	牧野 司	東
6	〃	(株) 保険クリエーション	代表取締役	金田 保	白石・厚別
7	〃	(株) コア・プランニング設計事務所	代表取締役	佐々木 堅一	豊平・清田
8	〃	ワコー北成メタル (株)	部長	川田 洋志典	豊平・清田
9	委員	(株) OWL (スナックストリート)	代表取締役	酒井 圭介	中央東
10	〃	(株) アルファヴィル	代表取締役	加藤 智久	中央東
11	〃	(株) ウェルストーン	代表取締役	石井 祐也	中央東
12	〃 (新)	FRSコーポレーション (株)	代表取締役	徳島 秀彦	中央西
13	〃	(有) 合同保険事務所	営業部長	榊原 大地	中央北
14	〃	北洋自動車 (株)	代表取締役社長	田中 悟	中央北
15	〃	FPプロダクツ (株)	代表取締役	千葉 雅可	西・手稲
16	〃	(株) ダスキンスズらん	代表取締役社長	宮内 啓子	西・手稲
17	〃 (新)	(有) プロウェイ	代表取締役	山田 博久	西・手稲
18	〃	(株) サイクルロード	代表取締役	野澤 健	南
19	〃	(株) ケンタ工業	代表取締役	伊藤 真由美	北
20	〃	北海道オリンピア (株)	代表取締役	宮本 典英	北
21	〃	(株) トータル保険事務所	専務取締役	中田 貴司	白石・厚別
22	〃 (新)	(有) 北海道新聞南販売所	代表取締役	南 仁	千歳・恵庭・北広島・長沼
23	〃	(有) 機弘社	代表取締役	前田 昭二	江別

財務・運営委員会

2025年度 活動のまとめ

- ① 予算の進捗管理および健全な財政運営を目指し、継続的な議論を重ねてきました。2025年度は理事会より、2026年10月からの会費改定に関する提案があり、総務委員会においても本件について検討を行いました。
- ② 札幌・南空知支部において先行して、例会参加費の口座引落サービスを実施することで、会員の利便性向上と、未収金対応による事務局員の改善を推進することとしました。
- ③ 総務委員は各地区会・部会から選出されており、委員会内での議論にとどまらず、委員を通じて各組織においても、支部財政の現状や課題を共有する機会を設けました。
- ④ こうした取り組みの結果、当期一般正味財産増減額は3,715,593円となり、収支のバランスを保った安定的な運営を実現することができました。

2026年度 活動方針

- ① 財政面から各組織の運営や企画、会員増強について提起し、支部財政の適切な運用を進めます。
- ② 経費の見直しを図るとともに、コンプライアンスを厳守し、より健全な支部財政の構築について議論します。
- ③ 全道財務・法人運営委員会や他支部との連携を図り、持続可能な札幌支部・南空知支部を目指して、事務局の業務改善及び役員活動と運営のあり方について検討します。

2026年度 財務・運営委員会体制

No.	委員会内役職	企業名	役職	氏名	地区会・部会
1	委員長	(株)レストレイション	代表取締役	目黒 久美子	中央西
2	委員(新)	(有)石井自動車	代表取締役	石井 賢治	中央東
3	〃	山崎建設工業(株)	代表取締役社長	江野 英嗣	中央南
4	〃	医療法人K2 北2条歯科クリニック	事務長	二俣 博信	中央北
5	〃	BLUESHEEP(株)	代表取締役	杉本 英範	中央北
6	〃	(株)サン設計事務所	代表取締役	吉岡 雄一	東
7	〃	幡本印刷(株)	代表取締役社長	加藤 景	西・手稲
8	〃(新)	RAFTE(有)	取締役	源 真紀	西・手稲
9	〃	(株)補償セミナー	代表取締役	中野 芳	南
10	〃	(株)ワコーバイオケミカル	代表取締役	佐々木 和秀	北
11	〃	(株)ナオキ工芸社	代表取締役	直井 泰憲	北
12	〃	パッケージアサヅマ(株)	総務部長	田中 康一	白石・厚別
13	〃(新)	(有)富樫政雄商店	代表取締役	富樫 悠平	豊平・清田
14	〃	山田農園	代表	山田 誉	千歳・恵庭・北広島・長沼
15	〃	(有)機弘社	代表取締役	前田 昭二	江別
16	〃	(株)あしだファーム	代表取締役	蘆田 裕介	農業経営部会
17	〃	(株)レオールツーリスト	代表取締役	本林 康雄	無二の会
18	〃	パートナーズ研究所	代表	土倉 玲子	女性経営者部会
19	〃(新)	(株)ウェルストーン	代表取締役	石井 祐也	未知の会
20	〃	ワコー北成メタル(株)	部長	川田 洋志典	起望峰
21	〃	井上税務会計事務所	所長	井上 奈穂子	国際ビジネス研究会
22	札幌支部 幹事長	北海道グリーンウェル(株)	代表取締役	石政 健太郎	札幌支部四役
23	南空知支部 幹事長	(株)ヤマシチ	代表取締役	山口 卓也	南空知支部

青年経営者部会 未知の会

第20期活動方針

<メインテーマ>

一理を学ば一理を行へ～ 成長にこだわれ ～

<活動方針>

1. 我々中小企業は、激動する情勢に対応し常に変化していくことが求められます。時代に取り残されることのないよう仲間と情報共有し、「学び」「実践」「挑戦」を繰り返していくことで、成長へとつなげます。
2. 例会は「学び」に重点を置き、各例会の内容を共有し、フィードバックを行うことで例会の質の向上に努めます。また仲間への自己開示（胸襟を開く）を通じて、それぞれが抱える経営課題を解決するヒントを見つけ、成長へとつなげます。
3. 会の円滑運営のためには、グループの仲間はもとより、自社の従業員や家族（自身を取り巻く社会）の理解も必要不可欠です。仲間とはお互いの立場を尊重しながら「学び」を通して高めあい、SNS等の活用により未知の会の活動、そして未知の会の価値を未知の会内外問わず広く発信します。

無二の会

2026年度 活動方針

無二の会2026年度活動方針

事業の永続的発展を学び続ける

- ・事業承継(親族・社内)M&Aそして永続的に発展するために学び続ける
- ・培える無二の仲間作り(卒業なし)
- ・より早い時期から終活に向けた準備「終活」を

「無二の会」は2007年6月事業承継を学ぼうと60歳以上の経営者でスタートしました。発足後19年目を迎え2021年からは50歳以上に受け皿を拡げ活動しております。

この事を踏まえて2026年度の無二の会は下記の活動を実行します。

- 1、特徴別の3つのグループに分けて活動します
①事業承継終了②事業承継間近 ③事業承継10年以内
- 2、各グループの活動はグループ世話人にお任せし、世話人会で共有します。
- 3、原則として2年ごとにグループ編成します。
- 4、世話人の任期は2年、代表世話人の任期は4年を原則とします。
- 5、1～3グループ合同のオープン会を年に3回実施します。
「起望峰」との懇親を年1回(10月予定)「つなげる」との懇親を1回。
「終活セミナー」を1回。
- 6、オープン例会以外に全員が集まる場として、総会、新年会、一泊旅行開催
- 7、永続する企業作りの為、各種勉強会を、グループ毎に実施。
- 8、事業承継プログラムの活用を通してスムーズな事業承継を行う。
- 9、同好会(ワイン、ゴルフ、アウトドアetc)で会員同士の親睦を深め、“健康寿命”を伸ばしましょう。
- 10、事業承継計画書の作成を推進し続ける！！
=事業承継計画書ありきでスムーズな事業計画を=
2026年4月7日第20回総会無二の会 代表世話人 大西克幸

女性経営者部会

2026年度 活動方針

- 共に学び安心して語り合える仲間作り
(自分の意見を語れる力と人の話を聞く姿勢を身につける)
- 楽しく学び実践し自社を成長させる
(自社の課題と実践を報告する時間を設ける)
- 地域のリーダーに
(札幌市の働く、働ける女性たちのリーダーシップを)

農業経営部会

2026年度 活動方針

農業経営者と中小企業家の絆を深め、新たな時代を切り拓こう

- ①農場指針づくりを広め、自分らしい農業経営のあり方を探求します。
- ②市場開拓・地域振興・雇用問題・気候変動など、農業を取り巻く諸課題について広く議論をかわします。
- ③若手農業経営者の学びの場を増やし、地域の発展を進めます。

後継者ゼミナール 「起望峰 ~Raise Good Hopes~」

2026年度 活動方針

スローガン【 学ぶ、繋ぐ、選択する 】

社長就任に向けて必要な知識やスキルを学び、後継者同士や先輩経営者との繋がり、後継者が自分自身のキャリアを主体的に選択できる力を身に着ける。

1. 事業承継を体系的に学ぶ

事業承継に関わる「人」「物」「金」「知的資産」の問題点を整理し、専門家を交え事業承継スキームの理解を深める。

「人」：後継者教育、社員との人間関係、労務管理、採用

「物」：自社株式の移転、事業用資産（設備・不動産・特許等）の譲渡、新規事業の有無

「金」：財務、経理、資金繰り

「知的資産」：経営理念の共有、社長の持つ信用・人脈・ノウハウの引き継ぎ

2. 長期的な展望の中で起望峰が後継者育成の中核を担いながら、「学び」のネットワークを構築していく

①札幌支部内外の会員企業後継者、新会員（後継者）へ学びの場を付与する

②支部内外の後継者部会、青年経営者部会との交流を図る

③その他団体との交流を通じて自身の学びや社会的貢献を目指す

3. 後継者特有の悩みや問題を互いに相談し合える学びの場を築く

①会員同士の悩みや課題を共有できる場を提供する。

②準会員や会員内外の経営者から、経営者としての心構えや必要なスキル、創業もしくは事業承継時の体験談を報告頂ける場を確保する。

③意見交換や議論の場を確保し、会員同士で成果を享受できるよう努める。

国際ビジネス研究会

2026年度活動方針

<中期ビジョン>

- 1) 本会は国際ビジネスを展開する為に国際的な学び合いの活動を行います。
- 2) 本会は国際ビジネスの為に、国内外のネットワークを構築します。
- 3) 本会は海外経済視察等を通して、海外企業との交流を積極的に行います。

<2026年度活動方針>

『国際ビジネスに関心のある会員企業・道内団体との学び合いを積極的に行います』

- 1) 会員企業同士および国内外の企業との交流を深める活動を行います。
- 2) 本会の活動を通して、国際ビジネスへの関心を高め、取り組む会員企業の視野を広げます。

2026年度活動方針（案）

2026年度スローガン

「しなやかな企業、持続可能な未来。産学官で挑む、北海道の新しいモノ・コトづくり。」

いま世界は、第2次世界大戦を経て国連のもとに構築された国際社会の連帯と平和の秩序が相次いで踏みじられ、戦後最大の危機に直面しています。そして、物価高と原材料不足、エネルギー問題や経済的格差の是正、気候変動対策など解決が求められている課題が山積。道内では人口減少や少子高齢化、人材不足が一層進み、雇用と地域経済を担う中小企業を取り巻く経営環境は一層厳しさを増しています。

そうした中2025年度HoPEは、北海道発宇宙ビジネスの可能性から、世界経済の動向、移住やデザイン都市、畜産や森林資源、小水力とエネルギー、食と農、さらにAIや臨床美術など、中小企業と北海道が直面する課題や活路を共に探究しました。

2001年6月に誕生したHoPEは、今年度25周年を迎えました。HoPEは産学官の多面的な連携を通して新たなシーズやニーズを探り、中小企業の発展と北海道経済の活性化を目指す先駆的な活動を展開してまいりました。この25年の歩みを通して、モノづくりやコトづくりをはじめ、農業や食料、さらに医療・介護・福祉・教育・物流・交通等を包括した豊かで持続可能な地域社会構築のカギは、産学官金の有機的な連携にあることが明らかとなりました。

新年度は、関係機関との連携を活かし社会的課題解決の担い手である21世紀型企業づくりをさらに深化させ、激動と共に歩むしなやかな事業 しなやかな企業づくりを進めてまいります。

「組織・人・マインド」

●ウェルビーイングな経営

人間尊重経営、ジェンダー平等、企業倫理、ダイバーシティ推進による、組織の潜在能力解放

●デザイン経営と創造的組織文化

経営視点のデザイン活用による顧客理解の深化や組織としての顧客価値創造力の強化を学ぶ

●社会教育&リカレント

大学などとの連携による社会教育活動、共に学び成長するオープンな学び場を提供する

「産業・技術・稼ぎ方」

●テクノロジーとスタートアップ

北海道の強みを生み出す新しいテクノロジーを知る、ゼロから価値を生む起業家精神に学ぶ

●産業のクロスバリュー

北海道ならではの農業・食・観光を掛け合わせた新ビジネスや北海道ブランドの可能性を探る

●国際経済への適応

激動する国際情勢を捉え、グローバルな視点を持った地域産業の発展を考える

「地域・環境・社会」

●GX（グリーントランスフォーメーション）の推進

ゼロカーボン北海道を実現するための「再エネ・省エネ・楽エネ」で、持続可能な社会を展望する

●生物多様性と環境経営

生物多様性の保全と経済活動を両立できる、自然共生型の新しい企業や事業のあり方に学ぶ

●産学官金ネットワークの深化

セクターを超えた全道の連携・共創のプラットフォームで持続可能な地域社会の基盤をつくる

●地域が抱える社会課題の探究

貧困と格差、インフラの老朽化など、都市と地方が直面する課題を踏まえた“もう一つの未来”を展望する

ゼロカーボン北海道研究会

2026年度 活動方針

【活動目的】

道内中小企業の力を結集し、地域主導で再生可能エネルギーの創出、省エネルギーを推進し、ゼロカーボン社会の実現に向けた技術開発および普及のための研究を行い、地域内及び北海道内における経済循環を実現する。

また、「中小企業によるゼロカーボン型ビジネス」を創造することで、元気な企業の増加と雇用創出を行い、エネルギーシフトの実現と持続可能な地域づくりにつなげる。

【活動方針】

1. 全道各支部の会員による実践から学びを深める場をつくる。
2. 会員同士の繋がりを深め、行政・支援機関との連携も強化する。
3. 脱炭素経営に取り組む中小企業経営者の輪を広げる。

【2026年度活動計画】

2026年度は、北海道における「ゼロカーボンの社会実装」を加速させるため、従来のエネルギー対策に加え、デジタル技術の活用や資源循環、そして企業価値を高めるためのGX経営を深掘りします。

1. GX（グリーントランスフォーメーション）経営と情報開示の深化
2. 地域資源を活かした次世代エネルギーの最適利用
3. サーキュラーエコノミー（資源循環）への展開
4. 産学官・異業種連携による「地域共生型」プロジェクト
5. 実装現場への視察と実践的ワークショップ

北海道同友会第58回定時総会 札幌支部選出代議員名簿

(敬称略・順不同)

No.	企業名	役職	氏名
【中央東地区会】			
1	(株) ブレンドワークス	代表取締役	前川 裕一
2	(有) 石井自動車	代表取締役	石井 賢治
3	(株) T.Kワークス	代表取締役	川浦 貴秀
4	(株) レオールツーリスト	代表取締役	本林 康雄
5	(株) タフト	代表取締役	酒井 和之
6	(株) OWL (スナックストリート)	代表取締役	酒井 圭介
7	(株) GIFカンパニー	代表取締役	福田 広
8	(株) ホクラミ	代表取締役社長	矢吹 英俊
9	札幌シティ法律事務所	弁護士	小林 晃
【中央西地区会】			
10	(株) レストレイション	代表取締役	目黒 久美子
11	(株) インブルーブ	代表取締役	吉田 潤生
12	(株) C・P・S	代表取締役	小田 晃広
13	(株) マッシモ	代表取締役	治山 孔
14	Piece of Support合同会社	執行役員	武山 大祐
15	(株) エコフィールド	代表取締役	安富 聖慈
16	司法書士加藤真紀事務所	司法書士	加藤 真紀
17	司法書士・行政書士小松洋輔事務所	代表	小松 洋輔
18	(株) トライ	代表取締役	芳賀 直史
19	(株) テスク	代表取締役	丹 英司
20	(株) 雪研スノーイーターズ	代表取締役	大槻 政哉
【中央南地区会】			
21	ハヤシ電興 (株)	代表取締役社長	林 隆志
22	NPO法人障がい者就労支援の会	あかり家 施設長	妻倉 ゆかり
23	合同会社プラスエム	代表社員	長谷川 久美子
24	北明システム (株)	総務部長	昆 幹夫
25	亀田成春法律事務所	弁護士	亀田 成春
26	熊谷亘泰事務所	所長	熊谷 亘泰
27	見野法律事務所	弁護士	見野 彰信
28	はやしの企画 Hayashi's Planning	代表	林 正治
【中央北地区会】			
29	BLUESHEEP (株)	代表取締役	杉本 英範
30	(有) ツーエイクルミ薬局	代表取締役	赤崎 幸三
31	(株) アメック	代表取締役社長	渋谷 昇吾
32	(株) CHUE MUSIC	代表取締役	荒井 純一
33	(株) デンシヨク	専務取締役	大沼 洋之
34	弁護士法人PLAZA総合法律事務所	弁護士	山田 敬純
【東地区会】			
35	(株) ケルプ研究所	代表取締役	福士 宗光
36	北嶺不動産 (株)	代表取締役	大石 優司
37	日美装建 (株)	代表取締役	大澤 寛晃
38	(株) サン設計事務所	代表取締役	吉岡 雄一
39	(株) りんゆう観光	代表取締役社長	植田 拓史
40	社会保険労務士事務所テラス	代表	倉 雅彦
41	(株) フジソー	代表取締役	樋口 直樹
42	野外科科学 (株)	代表取締役社長	高岡 伸一
43	(有) 谷越印刷	代表取締役	谷越 律夫
44	(株) アンクス	代表取締役	掛水 武
45	マルサン塗料 (株)	代表取締役社長	立花 秀樹
【西・手稲地区会】			
46	(株) ティーピーパック	取締役会長	池川 和人
47	ベル食品 (株)	代表取締役会長	福山 恵太郎
48	(株) レイジックス	代表取締役	敬禮 匡

北海道同友会第58回定時総会 札幌支部選出代議員名簿

(敬称略・順不同)

No.	企業名	役職	氏名
49	(株) リポートサービス北海道	代表取締役	西田 宙文
50	(株) 保険のベストケア	代表取締役	矢島 嘉信
51	RAFTE (有)	取締役	源 真紀
52	(株) 専秀堂	代表取締役	中川 伸行
53	(株) アイム	代表取締役社長	山谷 満紀夫

【南地区会】

54	(株) サークルクリーン	代表取締役	藤井 雅規
55	(株) サイクルロード	代表取締役	野澤 健

【北地区会】

56	(株) 秀岳荘	代表取締役社長	小野 浩二
57	(有) 久和コーポレーション	代表取締役	久門 和木
58	北海道オリンピック (株)	代表取締役	宮本 典英
59	(株) ナオキ工芸社	代表取締役	直井 泰憲
60	(株) MAKOTO	代表取締役	大和 友幸
61	(株) ワコーバイオケミカル	代表取締役	佐々木 和秀
62	(株) A.I.P	支店長	藤田 学
63	おつよコンタクト (株)	代表取締役	柳 剛志
64	シオンテクノス (株)	取締役副社長	村野 充

【白石・厚別地区会】

65	サンマルコ食品 (株)	代表取締役会長	藤井 幸一
66	(有) ぐらしの新聞社	代表取締役	安井 清吉
67	北海道グリーンウェル (株)	代表取締役	石政 健太郎
68	(株) 工藤商事	代表取締役	工藤 英人
69	(株) どんぐり	代表取締役社長	野尻 雅之
70	(株) トータル保険事務所	専務取締役	中田 貴司
71	パッケージアサヅマ (株)	代表取締役	田中 康一
72	(株) 保険クリエーション	代表取締役	金田 保
73	FP事務所ROSSO	代表	佐藤 拓哉
74	(株) grow	代表取締役	佐々木 亮太郎
75	合同会社あすな	代表	佐藤 綾乃
76	(有) エコテクノベース	代表取締役	宮野 達司
77	(株) ADA	代表取締役	安達 国博
78	(株) 出口塗工店	代表取締役	出口 則夫

【豊平・清田地区会】

79	須藤建設 (株)	専務取締役	須藤 隆
80	(有) 富樫政雄商店	代表取締役	富樫 悠平
81	(株) A警備24	代表取締役	矢萩 博人
82	フィールド・クラブ (株)	取締役	河崎 紀行
83	(株) 大橋冷機	代表取締役社長	塚本 教博
84	(株) コア・プランニング設計事務所	代表取締役	佐々木 堅一
85	NK北海道 (株)	代表取締役	本間 竜太
86	(株) SOUSHINホールディングス	専務取締役	妹尾 聡

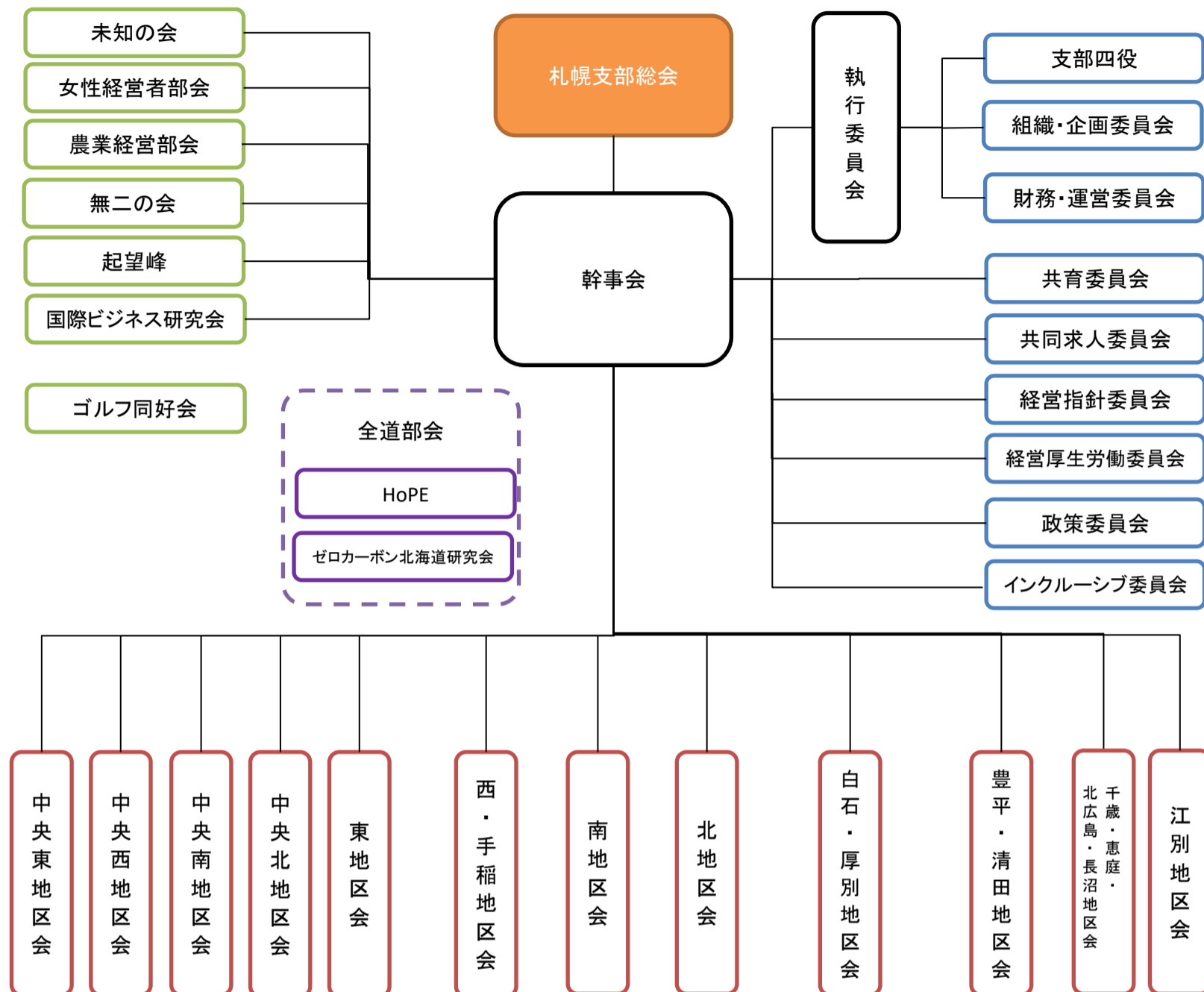
【千歳・恵庭・北広島・長沼地区会】

87	宮崎こうじ社会保険労務士事務所	代表	宮崎 好司
88	山田農園	代表	山田 誉
89	(有) 内山新聞店	代表取締役	内山 亘理
90	(有) 北海道新聞南販売所	代表取締役	南 仁
91	リサイクルファクトリー (株)	代表取締役社長	本村 信人

【江別地区会】

92	(有) 機弘社	代表取締役	前田 昭二
93	合同会社シリカマテリアル	代表社員	高田 哲也
94	(株) パル・コーポレーション	代表取締役社長	齋藤 和夫

2026年度 札幌支部組織図



この間、同友会で目指してきた『21世紀型中小企業づくり』

※21世紀型中小企業とは

同友会では、これからの時代のめざすべき企業像として、「21世紀型中小企業づくり」を提唱しています。1993年、札幌で開かれた中同協第25回総会「総会宣言」で提唱されました。それは次の2点に集約されます。

第一に、自社の存在意義を改めて問いなおすとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる企業。

第二に、社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。

なお、「21世紀型中小企業」をめざす上で、欠かせないのが、「労使見解」(「中小企業における労使関係の見解」)の学習です。これは、1975年に中同協が発表した文書で、労使の信頼関係こそ企業発展の原動力であるとする企業づくりの基本文書です。「21世紀型中小企業づくり」は、経営者の適切なリーダーシップのもとで、労使が力をあわせて、強い体質の企業づくりをめざし、地域社会と共に歩み、共に次代を切りひらく企業づくりであり、先述の通り「同友会の三つの目的」の総合実践でもあります。

「同友会運動の発展のために」より

同友会の3つの目的

- (1) 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と、強靱な経営体質をつくることをめざします。
- (2) 同友会は、多くの人に触れあうことによってお互いの人格、識見を高め、現代の経営者に要求される総合的な能力を身につけるよう努力します。
- (3) 同友会は、中小企業をとりまく経営環境の改善をめざします。



一般社団法人
北海道中小企業家同友会 札幌支部